

第4回福岡市男女共同参画審議会（平成26年7月9日）

一般評価事業の実施状況及び評価

- 「業績目標」は、平成27年度までに達成すべき目標を記載している。
- 「事業実績と予算額」は、平成25年度の内容を記載するとともに、継続事業については、進捗状況を明らかにするため〈 〉で記載している。
- 男女共同推進センター・アミカスが実施する個別の男女共同参画講座・講演会については、該当する具体的施策の欄に記載し、「☆アミカス講座」と表記している。ただし、業績目標は、具体的施策3に一括して記載し、個別の講座・講演会には記載していない。

基本目標 1 男女平等意識が浸透した社会を目指します			頁
1 男女平等教育の推進	1	学校教育における男女平等教育の推進	1
	2	教育に携わる者への研修の充実	3
2 男女共同参画推進センターを中心とした啓発・学習の全市的展開	3	男女共同参画推進センターにおける取組の推進	4
	4	拠点施設としての支援の充実	5
	5	区役所、人権啓発センター、婦人会館、市民センターにおける取組の推進	6
	6	公民館における取組の推進	11
	7	男女共同参画に関する調査・研究	
	8	男女共同参画に関する広報と情報提供	12
3 市民等との連携・共働の推進	9	市民団体、NPO、自治協議会等との連携・共働	15
	10	大学との連携	20
	11	報道機関との連携	
4 国際理解・交流の推進	12	男女平等に関する国際理解の推進	21
	13	在住外国人女性への支援	
基本目標 2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します			頁
1 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護 (福岡市配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する基本計画)	14	配偶者等からの暴力防止に向けた意識啓発	23
	15	相談体制の充実	24
	16	保護体制の充実	25
	17	被害者の自立のための支援	26
	18	関係団体との連携	27
	19	セクシュアル・ハラスメント等の防止に向けた広報・啓発	
2 セクシュアル・ハラスメント等及び性犯罪の防止	20	市職員のセクシュアル・ハラスメントの防止	28
	21	教育現場におけるセクシュアル・ハラスメントの防止	
	22	相談の充実	29
	23	性犯罪被害の防止及び犯罪被害者への支援	
3 生涯にわたる健康支援	24	青少年への意識啓発	30
	25	母性機能の社会的重要性に関する認識の浸透	31
	26	出産前後の女性の健康管理の支援	32
	27	ライフステージに応じた心身の健康管理の支援	33
基本目標 3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します			頁
1 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	28	企業等への広報・啓発	35
	29	育児・介護休業制度に関する広報と情報提供	36
	30	仕事と生活の調和のとれた生き方の普及	37
	31	市役所における育児・介護休業中の男女への支援	
	2 男性の家庭・地域への参画促進	32	男性への意識啓発
33		男性の家庭生活や地域活動への参画促進	43
34		生活的自立のための学習機会の提供	48
35	多様なニーズに対応した子育て支援の充実		
3 子育て・介護支援の充実	36	子育てしやすい環境づくり	51
	37	介護支援の充実	55
4 ひとり親家庭への支援の充実	38	相談の充実	56
	39	ひとり親家庭の自立促進と生活の安定	57
基本目標 4 政策・方針決定過程に男女が共に参画できる社会を目指します			頁
1 市の政策・方針決定過程への女性の参画促進	40	審議会等への女性の参画促進	58
	41	市役所における男女共同参画の推進	
2 あらゆる分野の意思決定過程への女性の参画促進	42	企業における女性の参画促進	62
	43	農林水産業の分野における女性の参画促進	
基本目標 5 働く場において男女が対等に参画できる社会を目指します			頁
1 男女の均等な機会と待遇確保	44	企業等への広報・啓発	63
	45	男女共同参画推進に取り組む企業の事例紹介	
2 働く女性への支援	46	働く女性への労働に関する広報と情報提供	64
	47	働く女性の能力開発のための研修の実施	
	48	働く女性の交流の場の提供	65
	49	相談の充実	
3 女性の就業支援	50	就業意識の啓発と職業能力の向上	66
	51	女性の起業支援	67
	52	再就職への支援	
基本目標 6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します			頁
1 地域における男女共同参画意識の浸透	53	地域の主体性を尊重した男女共同参画の推進	68
	54	自治協議会等を中心とした男女共同参画意識の浸透	73
2 地域における男女共同参画推進活動の支援	55	男女共同参画協議会等の活動支援	74
3 地域活動の方針決定過程への女性の参画促進	56	自治協議会等への女性役員の参画促進	79
	57	地域の女性リーダー育成と活躍支援	

基本目標 1 男女平等意識が浸透した社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	19	54	1	0

施策の方向 1 男女平等教育の推進

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 1 学校教育における男女平等教育の推進				
小・中学生向け男女平等教育副読本	小中学生向け男女平等教育副読本の活用率の向上。 小学校 100% 中学校 50%	男女平等教育の副読本を作成し、市内の小・中学生に配付、教師用に「指導の手引」を作成し配布。 小学校:「はらっぱ」, 同「指導の手引」 ・小学校3,4年生対象(3年時に配付) ・部数: 15,000(15,000) ・活用率96.6%(93.8%) 中学校:「わたしらしく生きる」, 同「指導の手引」 ・中学校全学年対象(1年時に配付) ・部数: 14,000(14,000) ・活用率39.1%(33.8%) 予 算 額 25年度予算額 1,801千円 24年度予算額 <1,801千円>	B	市) 男女共同参画課 教) 学校指導課
中学生のためのキャリアデザイン啓発事業	子どもの頃から性別にとらわれない自己形成ができるよう男女平等教育を推進する。 平成25年度から27年度の3年間で全69校でセミナーを実施する。	大学・企業・地域・市が連携し、中学校へ講師を派遣し、男女共同参画の必要性や将来のキャリア形成への意識を高める出前セミナーを実施。 <実施校> 市立中学校19校 <15校> <セミナーの内容> ・男女共同参画の必要性について ・性別にとらわれず将来のキャリアデザインを描くことの大切さについて ・ロールモデルの紹介 ・専門分野・研究分野の説明・体験等	B	市) 男女共同参画課
男女平等の理念に立った教育課程の編成	男女平等の理念に立って教育課程を編成し、教科等の特質や児童生徒の発達段階に応じた男女平等教育を行う。	各学校において、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動等の特質や児童生徒の発達段階に応じて作成する教育指導計画に男女平等教育の視点を適切に位置付けている。 予 算 額 25年度予算額 - 24年度予算額 -	B	教) 学校指導課
職場体験学習	職場体験学習の実施率中学校100%の継続 生徒のニーズにあった受け入れ事業所の充実。	参加学校数及び生徒数:69校 11,820名 <69校 11,913名> 受け入れ事業所:3,388事業所 <3,616事業所> 予 算 額 25年度予算額 485千円 24年度予算額 <516千円>	A	教) 学校指導課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
家庭科教育の充実	男女が共に家族の一員として役割を果たし、家庭を築いていくことの重要性を認識し、生活に必要な知識・技能を習得させるため、家庭科教育の充実を図る。	<p>【小学校5・6年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○男女ともに、家族の一員として役割を果たすために、家庭生活を支える仕事の理解と仕事を分担し工夫することを学ばせた。 ○生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付けさせた。 <p>【中学生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家族を構成する男女が、家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係をよりよくする方法を工夫することを学ばせた。 ○生活の自立に必要な基礎的な知識と技能を習得させた。 	B	教) 学校指導課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
育児の体験学習等		<p>家庭科の授業において、園児とともに遊ぶためのおもちゃや絵本などを製作したり、幼児への接し方を考えるロールプレイングやビデオで幼児の行動を観察したりする授業改善に取り組んでいる学校が増えている。また、実際に幼稚園や保育園を訪問し、園児とのふれあいを通じて、生徒に「育児」の体験をさせる学校もある。</p>	B	教) 学校指導課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
学校生活全体にわたっての見直し	男女混合名簿の採用率 小学校100% 中学校50%	<p>学校生活全体にわたって以下の点について見直しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各教科や道徳の時間をはじめ、あらゆる教育活動を通して男女の相互理解や相互尊重といった望ましい人間関係の育成 ○学級での係分担や委員会活動、児童会・生徒会の役割分担見直し ○男女平等教育副読本および指導の手引を活用した研修の実施 ○教職員の固定的性別役割分担意識の解消のための研修の実施 ○中学校の未採用校への聞き取りと、採用への指導を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・男女混合名簿（出席簿等）の採用率 小学校：99.3%〈98.6%〉 中学校：56.5%〈44.9%〉 ・男女平等教育副読本活用率 小学校：96.6%〈93.8%〉 中学校：39.1%〈33.8%〉 	C	教) 学校指導課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 2 教育に携わる者への研修の充実				
男女平等教育研修会の実施	教職員の男女平等教育研修会の参加率 100%	<p>〈講演〉「男女共同参画社会は日本の希望」 講師：中央大学文学部教授 山田 昌弘</p> <p>〈実践発表〉副読本「わたしらしく生きる」の活用について 発表者：福岡市立柏原中学校 教諭：神谷 美保 参加者：226人(97.0%) 〈225人〉</p>	A	教) 学校指導課 市) 男女共同参画課
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 100千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 〈100千円〉</td> </tr> </table>		
25年度予算額 100千円	24年度予算額 〈100千円〉			
公民館長・公民館主事の研修	新任公民館職員研修及び7区の公民館運営研修等において、男女共同参画に係る研修を実施。	<p>公民館職員に対する男女共同参画に係る研修の実施。 ア 新任公民館職員研修実績 25年度1回32人 〈24年度1回45人〉</p> <p>イ 公民館運営研修実績 東区, 博多区各1回, 計99人 〈東区, 博多区, 中央区で各1回, 計128人〉</p>	B	市) 公民館調整課
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 67千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 〈67千円〉</td> </tr> </table>		
25年度予算額 67千円	24年度予算額 〈67千円〉			
保育所職員への研修	年に1~2回男女共同参画の研修を位置づける。	<p>研修実施。 対象：保育所保育士(主任・中堅) 内容：男女共同参画を幼児期から考えるために「幼児期からの人権教育」~私らしくあなたらしく~ 講師：いきいき子どもネットワーク 池田 良子 参加者：20人</p> <p>〈24年度 対象：保育士(主任・中堅) 参加者：22人〉</p>	B	こ) 保育所指導課
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 -</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 -</td> </tr> </table>		
25年度予算額 -	24年度予算額 -			
教頭2年次研修	研修受講満足度を、平成27年度までに、90%とする。	<p>テーマ：「男女共同参画社会の実現と教頭の役割 ~学校における男女平等教育の進め方~」 講師： 市民局男女共同参画課 課長 出利葉 正信 参加者数：2年次教頭 33人 〈30人〉 研修評価：受講者満足度 92%</p>	A	教委) 教育センター研修課
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 -</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 -</td> </tr> </table>		
25年度予算額 -	24年度予算額 -			
社会教育関係職員研修会	社会教育関係職員を対象に人権教育研修会を実施することで、男女共同参画社会実現のための地域等での人権教育・啓発活動に活かす。	<p>テーマ：「男女共同参画の推進」 講師：男女共同参画推進課職員 参加者数：30人〈45人〉</p>	B	教) 生涯学習課
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 72千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 〈72千円〉</td> </tr> </table>		
25年度予算額 72千円	24年度予算額 〈72千円〉			

施策の方向 2 男女共同参画推進センターを中心とした啓発・学習の全市的展開

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 3 男女共同参画推進センターにおける取組の推進				
男女共同参画講座・講演会の実施	主催するすべての講座において、定員を超える応募者数を得る。	① 男女の自立や男女共同参画を促進するための講座 20講座60回 参加者2,892人 <21講座72回 参加者2,399人> 事前申込みが必要な16講座中、応募者数が定員を満たしたものは10講座<18講座中 9講座>	B	市) 事業推進課
		② 女性のチャレンジ支援のための講座等 13講座149回 参加者2,534人 <12講座124回 参加者1,964人> 事前申込みが必要な12講座中、応募者数が定員を満たしたものは5講座<12講座中 6講座>	B	市) 事業推進課
	参加者数300人を超える。	③ 健康管理の支援のための講演会等 1講座2回 参加者290人<1講座2回 参加者239人>	B	市) 事業推進課
		①～③合計 34講座 211回 5,716人(女性4,743人,男性973人) <34講座 198回 4,602人(女性3,920人,男性682人)> 予 算 額 25年度予算額 14,734千円 24年度予算額 <14,710千円>		
市民グループ活動支援事業	イベント部門 30企画 調査研究部門 1企画	イベント部門 40企画<31企画> 調査研究部門 1企画<1企画> 事業報告会参加者数 59人<73人> 報告書 1種類 800部発行<1種類 700部発行>	B	市) 事業推進課
		予 算 額 25年度予算額 2,798千円 24年度予算額 <3,008千円>		
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等		あなたの人生サポート講座 全6回 講師:原田純子(弁護士)ほか 参加者数:130人<211人>	B	市) 事業推進課
		予 算 額 25年度予算額 - 24年度予算額 -		
☆アミカス講座				

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等 ☆アミカス講座		男女共同参画講座 「アミカス△共感ゼミ」 講師：三浦清一郎(生涯学習通信「風の便り」編集長)ほか 参加者数：延べ159人(全3回)〈延べ76人(全2回)〉 予 算 額 25年度予算額 24年度予算額 - -	A	市) 事業推進課
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等 ☆アミカス講座		○映画「BOL～声をあげる～」上映会 参加者数：144人 共同主催：アジアフォーカス・福岡国際映画祭実行委員会 ○映画上映会「マルタのやさしい刺繍」 参加者数：147人 予 算 額 25年度予算額 24年度予算額 - -	B	市) 事業推進課
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等 ☆アミカス講座		男女共同参画基礎講座「あなたは家庭人？職業人？地域人」 ・寸劇出演：福岡市男女共同参画推進サポーター ・講演「男性を対象とした取り組みを地域ですすめるためのヒント」 講師：渥美由喜(厚生労働省政策評価に関する有識者会議委員) 参加者数：244人 共同主催：福岡市七区男女共同参画協議会 予 算 額 25年度予算額 24年度予算額 - -	A	市) 事業推進課
具体的施策 4 拠点施設としての支援の充実				
「地域における男女共同参画講座・講演会」支援事業	支援件数を50件以上に する。	市民センターや公民館など地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会について、プログラム作成、講師紹介等のアドバイスをを行い支援を行った。 支援回数：54件〈52件〉 (内訳) プログラム作成 0件〈1件〉 講師紹介 24件〈40件〉 アミカス寸劇隊派遣事業 8件〈8件〉 出前講座 22件〈3件〉 予 算 額 25年度予算額 24年度予算額 - -	A	市) 事業推進課
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣件数50回	○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した30人と、前期より継続して登録した17人、合計47人(女性39人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 12回〈25回〉 ・講座の受講者数 延べ404人〈671人〉 ○第4期男女共同参画推進サポーターのフォローアップ 「男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座」の実施 平成24年度から3年間、市民講師として派遣する第4期サポーターの研鑽を図るための講座を実施した。 全2回 参加者数 延べ183人〈全4回 参加者数 延べ35人〉 予 算 額 25年度予算額 24年度予算額 - -	B	市) 事業推進課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課						
具体的施策 5 区役所、人権啓発センター、婦人会館、市民センターにおける取組の推進										
<p>東区男女共同参画連絡協議会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>①総会・定例会・専門部会の開催(委員:27人) 総会1回・定例会12回・専門部会(随時)</p> <p>②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:310人(24年度:240人) 講演:「自分を育てる時間の使い方」 講師:村上 祥子 氏(料理研究家)</p> <p>③男女共同参画社会づくり講座 参加者:370人(24年度:379人) テーマ「超高齢社会の絆を考える」 (3回シリーズ 共催:東市民センター)</p> <p>④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:77名(24年度:65人) 「男女共同参画ってなあに」(講義) 講師:アミカス副館長 安部 修 氏</p> <p>⑤日本女性会議2013あなん(4名参加)(24年度:4人)</p> <p>⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会、演舞台に参加)</p> <p>⑦筑紫少女苑 成人式に参列</p> <p>⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名</p>	<p>B</p>	<p>東) 企画振興課</p>						
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">予 算 額</td> </tr> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>810千円</td> <td><810千円></td> </tr> </table>	予 算 額		25年度予算額	24年度予算額	810千円	<810千円>		
予 算 額										
25年度予算額	24年度予算額									
810千円	<810千円>									
<p>博多区男女共同参画代表者会活動支援</p>	<p>地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。</p>	<p>①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等</p> <p>②男女共同参画講演会(参加者63名) テーマ:男女共同参画社会をめざして 講 師:寺坂カタエ氏 対 象:校区男女共同参画委員、自治協議会長、公民館長・主事、まち館館長</p> <p>③日本女性会議への参加(参加者数5名) 分科会・全体会へ参加</p> <p>④内閣府男女共同参画フォーラムin福岡市への参加(各校区複数名)</p> <p>⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第2ブロック」(参加者41名) 「第5ブロック」(参加者48名)</p> <p>⑥視察研修(参加者数:37名) 福岡県男女共同参画表彰受賞者講演 視察先:田川郡川崎町 講 師:ラピユタファーム代表 杉本利雄氏</p> <p>⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り、各校区にて保有する。</p> <p>⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(9名)</p>	<p>B</p>	<p>博) 地域振興課</p>						
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">予 算 額</td> </tr> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>1,045千円</td> <td><952千円></td> </tr> </table>	予 算 額		25年度予算額	24年度予算額	1,045千円	<952千円>		
予 算 額										
25年度予算額	24年度予算額									
1,045千円	<952千円>									

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・定例会(月1回程度)での情報交換 ・定例会での校区活動報告 ・区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計3人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画委員研修の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:安部事業推進課長 / 参加者:80名)</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p> <p>※25年度は、地域振興・支援課</p>				
		<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 386千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 〈182千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額 386千円	24年度予算額 〈182千円〉				
25年度予算額 386千円	24年度予算額 〈182千円〉							
<p>中央区女性地域アクティブメイト事業</p>	<p>学習・活動の場・交流の場を提供し、女性の社会参画を促進する。</p>	<p>各校区男女共同参画協議会会長が推薦する地域コミュニティの中で若手・中堅として活躍が期待される女性を「中央区女性地域アクティブメイト」に任命し、下記の活動を行った。</p> <p>アクティブメイト14名</p> <p>(1)学習・研究活動 行政や地域、男女共同参画などにおいて市民生活に係わる様々な問題の中から、自分たちで研究テーマを設定し、学習・研究活動を行い、また、その活動を通して、会議の運営やプレゼンテーション力などの技術を習得した。 25・26年度テーマ:コミュニケーション・子どもと遊び・私達のまちのゴミ事情</p> <p>(2)報告活動 ・研究成果や活動結果を報告書にまとめ、中間報告会を開催 ・各校区の男女共同参画協議会等で随時活動報告</p> <p>(3)旧アクティブメイトへの情報提供とアンケート 前年度までに活動したアクティブメイトに対しその後の状況を把握するためにアンケートを実施し、また随時情報提供を行った。</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p> <p>※25年度は、地域振興・支援課</p>				
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 288千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 〈317千円〉</td> </tr> </table>	予 算 額		25年度予算額 288千円	24年度予算額 〈317千円〉		
予 算 額								
25年度予算額 288千円	24年度予算額 〈317千円〉							

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成25年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(6月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、9月、1月) 男女共同参画についての講演会を実施 校区が抱える問題や、お互いの考え方などについてグループワークを実施 校区活性化、取り組み方等についても意見を交換</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年6回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座 2回【参加者数:43名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②南区男女共同参画セミナー【参加者数:94名】 校区男女協及び自治協、校区住民等を対象に開催</p> <p>1)男女共同参画啓発ビデオ上映 「女性の人権シリーズ 夫の虐待を許さない！ 一夫婦のモラル・ハラスメント— 家庭に潜む、女性への人権侵害を許さない」</p> <p>2)講演 「男と女のいい関係～DVってなあに？～」 講師:原 健一氏 (佐賀県DV総合対策センター所長)</p> <p>③南区男女共同参画事業・活動報告書の作成 (発行は26年度)【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>		
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td style="width:50%;">25年度予算額 834千円</td> <td style="width:50%;">24年度予算額 <734千円></td> </tr> </table>	25年度予算額 834千円	24年度予算額 <734千円>		
25年度予算額 834千円	24年度予算額 <734千円>					

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(10回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>④その他 ・「日本女性会議2013あなん」への参加 ・「男女共同参画フォーラム」「アミカス記念祭」「あすばるフォーラム」への参加 ・各校区での広報紙の発行</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「男女共同参画を地域ですすめるには!？」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題,活動上の課題,そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:79名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 東日本大震災を今一度,女性の視点で捉え,この福岡で暮らす私たちが今後その教訓をどう生かしていくか学んだ。 ・対象:各校区男女協委員,自治協関係者,公民館職員等 【参加人数:137名】 I部 「日本女性会議2013あなん」参加報告 II部 講演「震災後の女性と子どもたち - 避難所生活・DV・そして今 -」 ・講師:八幡 悦子氏(NPO法人 ハーティ仙台・助産師)</p> <p>③「日本女性会議2013あなん」への派遣 3名</p>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>				
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>985千円</td> <td>〈991千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	985千円	〈991千円〉		
25年度予算額	24年度予算額							
985千円	〈991千円〉							

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
<p>早良区男女共同参画協議会活動支援</p>	<p>校区活動の活性化へつながる活動の支援。 男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①早良公民館 91名(68名) 「一人ひとりがいきいきと輝く地域社会に」 福永 宅司氏(子どもの学び館代表取締役) ②田隈公民館 62名(55名) 「輝き続けて90年 寺坂カタエの一代記」 寺坂 カタエ氏 ③原西公民館 65名(66名) 「独身男性育児情報誌編集長からパパになって～社長としてパパとして思うこと」 森 光太郎氏(リトル・ママ代表取締役社長) ④室見公民館 71名(76名) 「「婚学」で男女共同参画社会を作る」 佐藤 剛史氏(九州大学大学院農学研究院助教) 2. 日本女性会議2013あなんへの参加(委員5名参加) 3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置 4. 委員研修会 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①アミカス記念祭2013参加 4名(2名) 講演会「型にはまらない生き方」講師 養老 孟司氏 ②あすばる男女共同参画フォーラム2013 1名(7名) 基調講演「誰もが輝く社会へ～女性活躍に向けた課題と期待」等 ③研修会「男女共同参画ってなあに？」 54名 安部 修氏(アミカス副館長) 5. 地域リーダー育成研修会「早良区男女共同参画フォーラム」 第1部:基調講演「男女共同参画5W1H」 講師 中嶋 玲子氏(前あすばる館長) 第2部:パネルディスカッション「地域でやってみようよ!共同参画」 6. 「早良区のとどい」開催 368名 第1部:早良区男女共同参画協議会事業報告 協議会委員による人権劇「今やらなきゃ!!!」 第2部:講演会「自分を生きるということ」 講師 吉永 みち子氏(ノンフィクション作家)</p> <p>予 算 額</p> <table border="1" data-bbox="592 1048 1209 1115"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>720千円</td> <td><720千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	720千円	<720千円>	<p>B</p>	<p>早) 地域支援課</p>
25年度予算額	24年度予算額							
720千円	<720千円>							
<p>西区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標:平成27年度までに25%とする。</p>	<p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。会議やフェスティバルの開催、広報紙発行を実施した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画表彰等を実施した。</p> <p>1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2013 「とものつくろう いきいきとしたまち」 230名(300名)</p> <p>2. 日本女性会議 日本女性会議2013あなん参加 1名(4名)</p> <p>3. 委員交流・意見交換会 ①6月委員交流会・意見交換会 40名(41名) 実行委員・年間テーマ決定 ②9月委員交流会・意見交換会 31名(32名) 「地域課題の解決に向けた実践」 石田 喜久美 委員(壱岐校区) ③1月委員交流会・意見交換会 26名(33名) 「地域の男女共同参画意識を高めるためには」 岩永 真一 氏(福岡テンジン大学学長) ※地域リーダー育成研修会として開催 ④3月委員交流会・意見交換会 29名(30名) 「私たち今“いきいき”してますか」</p> <p>4. 全体会 ①40名(6月委員交流会終了後、同日開催) ②29名(3月委員交流会終了後、同日開催)</p> <p>5. 広報紙「なぎさ」 45号・46号(各号6500部)発行(43・44号は6400部ずつ発行)年2回、9月・3月に発行している。</p> <p>6. 男女共同参画表彰 受賞者:1団体(受賞者:5名、3団体)</p> <p>予 算 額</p> <table border="1" data-bbox="592 2067 1209 2134"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>1,130千円</td> <td><1,333千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	1,130千円	<1,333千円>	<p>B</p>	<p>西) 振興課</p>
25年度予算額	24年度予算額							
1,130千円	<1,333千円>							

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
男女共同参画社会づくり講座	市民センターにおける男女共同参画講座・講演会の実施。	男女共同参画社会づくり講座「超高齢社会の絆を考える」 ①「男女共同参画を推進するために」 福岡県男女共同参画センターあすばる館長 村山 由香里 ②「ぼけても普通に暮らしたい」 第2宅老所よりあい 所長 村瀬 孝生 ③映画会「折り梅」 受講者数 全3回:393名	A	東) 生涯学習推進課
		予 算 額 25年度予算額 168千円 24年度予算額 <45千円>		
婦人会館における講座・講演会の開催	主催事業及び婦人会館利用のグループ・団体との共催事業実施を進め女性グループの組織化や自立化を促進する。	主催事業及び婦人会館利用のグループ・団体との共催事業実施を進め女性グループの組織化や自立化を促進した。 ・主催事業2講座 <6講座> ・共催事業5グループ・団体と5講座 <5グループ・団体と6講座>	A	教) 婦人会館
		予 算 額 25年度予算額 1,039千円 24年度予算額 <1,045千円>		
具体的施策 6 公民館における取組の推進				
公民館における男女共同参画学習講座	公民館主催事業（男女共同参画講座）実施館数の増加。 60館	公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。 公民館数 49館 < 43館 > 回数 193回 < 167回 > 参加人数 5,485人 < 5,003人 >	B	市) 公民館調整課
		予 算 額(全主催事業分) 25年度予算額 55,139千円 24年度予算額 <55,667千円>		
具体的施策 7 男女共同参画に関する調査・研究				
地域における男女共同参画に関するプログラム集の作成	テーマ別に分類し、より活用しやすいものにする。	2012・2013年度に各市民センターや公民館、男女共同参画協議会及びアミカスで実施された男女共同参画に関する講座・講演会を、テーマ別に分類して紹介。 2013年度(平成26年3月発行) 作成部数:1,000冊<23年度1,000冊>	A	市) 事業推進課
		予 算 額 25年度予算額 - 24年度予算額 -		
市民意識調査	施策に反映できる、より有効な調査項目を検討する。	男女共同参画に係る施策を展開するうえで基礎資料とするため5年ごとに調査を実施。 ○平成25年度調査(調査期間:平成25年8月30日~9月17日) ・調査対象者数 4,500人 ・回収率 43.3% ・設問数 21問	A	市) 男女共同参画課
		予 算 額 25年度予算額 3,100千円 24年度予算額 -		
女性の雇用状況やワーク・ライフ・バランス等に関する調査分析	施策に反映できる、より有効な調査項目を検討する。	企業における男女共同参画に関する取組状況を把握し、男女共同参画に係る施策を展開するうえでの基礎資料とするため5年ごとに調査を実施。 ※前回調査は平成21年に実施。 次回は平成26年に実施予定。	-	市) 男女共同参画課
		予 算 額 25年度予算額 - 24年度予算額 -		

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
具体的施策 8 男女共同参画に関する広報と情報提供						
「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」の周知	「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」の周知を図る。	平成21年10月に「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」を改定発行した。また市職員を対象とした研修を開催し、手引きの内容説明及び、参加者が実際に作成した印刷物に対する具体的なアドバイスを行った。 研修参加者 計 35名 <研修参加者 計 29名> また全庁OA(市職員向け)に手引きを掲載し、全課に周知している。	B	市長) 広報課		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
-	-					
ユニバーサル都市・福岡の推進	年齢、性別、能力、背景などに関わらず、すべての人にとって住みやすく、来てみたくなる、みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」の実現に向け、ユニバーサルデザインの考え方に対する市民の理解促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサル都市・福岡賞の創設・表彰式の実施(平成25年10月27日) ・ユニバーサル都市・福岡フェスティバルの実施(平成25年9月28日～平成25年10月27日) ・キャンペーン・広報活動の実施等(5回) ・ホームページ・ソーシャルメディアの活用、出前講座の実施等(3回) ・子ども気づきデザインの企画・実施(3回) ・ユニバーサル都市・福岡デザインチャレンジの実施(4回) ・NPO等による取組みへの支援(事業費の4/5、上限40万) ・NPO、大学等との連携による推進(1回) ・児童向け教材の作成、活用(市内の新4年生全員に配布) ・全庁におけるユニバーサル都市・福岡推進本部会議の開催(1回)、関係課長で構成する幹事会の開催(1回) ・eラーニングの活用、新規採用職員への講師派遣等(2回) 	B	総) 企画調整部		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">15,000千円</td> <td style="text-align: center;"><26,650千円></td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
15,000千円	<26,650千円>					
行政広報物における表現のガイドラインの周知	市職員や市民が必要に応じて閲覧できるように全庁OA、ホームページ等を活用し周知を図る。	「行政広報物における表現のガイドライン」を全庁OA(市職員向け)に掲載し、周知している。 A4版(全7項 ※福岡県と北九州市と平成12年共同製作)(平成19年改訂) 行政広報物作成の際は、企画・制作を請け負う印刷事業者や広告代理店等に対しても同ガイドラインを配布することとしている。	B	市) 男女共同参画課		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
-	-					
市政だよりによる広報	効果的なタイミングに広報を行う。	男女共同参画推進にかかる市政だよりの広報 広報実績 計6回掲載<計8回> ・市男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」と「男女共同参画フォーラムin福岡市」の周知(11/1号) ・男女共同参画推進嘱託員募集(12/15号) ・「モデル校区地域リーダー育成塾」報告会の開催(3/1号) その他(市後援事業など) 3件	A	市) 男女共同参画課		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
-	-					
市政だよりによる広報	効果的なタイミングに広報を行う。	情報BOXのページにアミカス欄を設け、事業実施前の適切な時期に記事を掲載。掲載件数:54件<85件> 南区医師会との共同主催の講座 南区版に掲載:1件<1件> 職業訓練協会との共同主催の講座 お仕事欄に掲載:11件<4件>	A	市) 事業推進課		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
-	-					

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
市HPでの情報提供	関連部署とリンクさせるなど利便性を向上させ、市民が見やすく、分かり易いホームページとなるよう工夫する。	<p>本市の男女共同参画にかかる情報に関しては下記アドレスにて情報を発信している。</p> <p>福岡市トップページ→生活情報→人権・男女共同参画</p> <p>25年度の主な掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画審議会 ・男女共同参画フォーラムの開催 ・「モデル校区地域リーダー育成塾」報告会の開催 ・男女共同参画推進協議会 ・ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催 ・社会貢献優良企業優遇制度の募集 ・男女共同参画推進員(嘱託員)募集 等 	A	市) 男女共同参画課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
インターネットによる広報(アミカスHP)	<p>アクセス件数を250,000件以上にする。</p> <p>メルマガ登録数を1,500件以上にする。</p>	<p>○ホームページによる広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進センターの施設案内、事業概要、イベント、講座等の案内・募集、事業報告、アンケート集計等 ・調査研究報告書、図書情報、出版物の紹介 ・女性関連情報サイトへのリンク <p>アクセス件数 222,851件<222,881件></p> <p>○メールマガジンの配信</p> <p>メールマガジン登録者に男女共同参画推進センターの案内や男女共同参画の情報等を配信した。</p> <p>登録数1,157件<登録数1,080件></p>	B	市) 事業推進課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
出前講座	受講者の満足度の向上を図る。	<p>出前講座において男女共同参画社会基本法、男女共同参画を推進する条例等について説明を行った。</p> <p>実施回数 10件<13件> 参加者数 328人<344人> 受講者の満足度 91.6%<94.0%></p>	B	市) 男女共同参画課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
人材情報の提供	人材登録者数を300件以上にする。	<p>女性問題の視点から人材情報を収集し提供した。</p> <p>人材情報の登録及びインターネット等による情報を提供。</p> <p>登録数:286件<286件> 提供件数:22件<21件>, その他13件<9件></p> <p>WEB検索については、教育委員会生涯学習課のホームページ「まなびアイふくおか」の人材バンクで検索可能。</p>	B	市) 事業推進課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
広報紙の発行	広報紙に関しては、紙媒体から電子媒体へ移行していくことを考慮に入れ発行する。	<p>男女共同参画推進センターの事業等を紹介するとともに、女性問題解決のための情報提供や啓発を行った。</p> <p>○広報紙「アミカスタイムズ」の発行</p> <p>発行回数:年3回 発行部数:7,000部/回 配布先:全国の男女共同参画行政機関・施設、マスコミ、近郊大学・短大、市内の企業・病院、市情報プラザ、市民センター 等</p> <p>○「アミカスイベントナビ」の発行</p> <p>発行回数:年2回 発行部数:12,000部/回</p> <p>○情報紙「アミカかわら版」の発行</p> <p>発行回数:毎月1回 発行部数:2,800部/回<同左></p> <p>○アミカス図書室情報案内の発行</p> <p>発行回数:毎月1回 発行部数:1,000部/回<同左></p>	A	市) 事業推進課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
広報テレビ番組による広報	合計5回以上広報を行う。	テレビ番組で関連事業などを広報した。 ・お仕事再開プチサロン[12/17RKB今日感テレビ] ・男性カレッジ[2/8KBCANNスーパーJチャンネル]	B	市) 事業推進課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>25年度予算額</th> <th>24年度予算額</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
-	-					
アミカス図書室による情報の提供	蔵書数 44,000冊 貸出数 57,000冊 利用者数 46,000人	男女共同参画や女性問題に関する図書・資料等を収集し、貸出・閲覧・レファレンスを行った。 蔵書数: 45,044冊<44,065冊> 貸出数: 50,958冊<53,849冊> 利用者数: 44,763人<42,699人> レファレンス受付件数: 1件<1件>	B	市) 事業推進課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>25年度予算額</th> <th>24年度予算額</th> </tr> <tr> <td>18,493千円</td> <td><18,256千円></td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
18,493千円	<18,256千円>					
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣件数 50回	(具体的施策 4再掲) ○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した30人と、前期より継続して登録した17人、合計47人(女性39人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 12回<25回> ・講座の受講者数 延べ404人<671人> ○第4期男女共同参画推進サポーターのフォローアップ「男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座」の実施 平成24年度から3年間、市民講師として派遣する第4期サポーターの研鑽を図るための講座を実施した。 全2回 参加者数 延べ183人<全4回 参加者数 延べ35人>	B	市) 事業推進課		
ココロセンターだより	センターの事業紹介をはじめ、人権啓発情報を提供し、市民の人権意識の向上を図る。	・6月、9月、12月、3月の年4回発行 ・発行部数各4,000部<4,000部> ・ハートフルフェスタや人権尊重週間行事、女性の活躍についての記事や見守りダイヤル・性暴力被害者支援センターふくおかの紹介等を行った。 ・配布先: 公民館, 市民センターなど, 市の公共施設	B	市) 人権啓発センター		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>25年度予算額</th> <th>24年度予算額</th> </tr> <tr> <td>430千円</td> <td><430千円></td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
430千円	<430千円>					
ラジオ番組「こころのオルゴール」	市民の人権意識の向上(マスメディアを活用した市民の人権意識の啓発)	様々な人権問題をテーマにしたシナリオ全33本中、女性に関する問題をテーマとしたものを3本制作・12回放送した。	B	市) 人権啓発センター		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>25年度予算額</th> <th>24年度予算額</th> </tr> <tr> <td>13,612千円</td> <td><13,612千円></td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
13,612千円	<13,612千円>					
「まなびアイふくおか」による広報	ホームページ「まなびアイふくおか」、情報誌「まなびアイふくおか」、市政だより等を通じて、福岡都市圏のさまざまな機関・団体が開催する男女共同参画に関する事業を紹介する。	「福岡市学習情報提供システム まなびアイふくおか(ホームページ)」の講座・イベント情報及び情報誌「まなびアイふくおか」のなかで、男女共同参画に関する事業を紹介した。 1 ホームページアクセス数: 1,282,047件<1,177,522件> 2 情報誌 ・発行回数: 年4回<同左> ・発行部数: 1,305部<1,375部> ・配布先: 市民センター, 区役所, 情報プラザ, 総合図書館等	A	教) 生涯学習課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>25年度予算額</th> <th>24年度予算額</th> </tr> <tr> <td>105千円</td> <td>-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
105千円	-					

施策の方向 3 市民等との連携・共働の推進

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 9 市民団体、NPO、自治協議会等との連携・共働				
市民グループ活動支援事業	イベント部門 30 企画 調査研究部門 1 企画	(具体的施策 3再掲) イベント部門 40企画<31企画> 調査研究部門 1企画<1企画> 事業報告会参加者数 59人<73人> 報告書 1種類 800部発行<1種類 700部発行>	B	市) 事業推進課
「地域における男女共同参画講座・講演会」支援事業	支援件数を50件以上に する。	(具体的施策 4再掲) 市民センターや公民館など地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会について、プログラム作成、講師紹介等のアドバイスをを行い支援を行った。 支援回数:54件<52件> (内訳) プログラム作成 0件<1件> 講師紹介 24件<40件> アマカス寸劇隊派遣事業 8件<8件> 出前講座 22件<3件>	B	市) 事業推進課
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣回数50回	(具体的施策 4再掲) ○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した30人と、前期より継続して登録した17人、合計47人(女性39人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 12回<25回> ・講座の受講者数 延べ404人<671人> ○第4期男女共同参画推進サポーターのフォローアップ 「男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座」の実施 平成24年度から3年間、市民講師として派遣する第4期サポーターの研鑽を図るための講座を実施した。 全2回 参加者数 延べ183人<全4回 参加者数 延べ35人>	B	市) 事業推進課
登録団体との共働事業	「市民・行政共働型」啓発をさらに効果的に推進する。	平成24年度は、男女共同参画の分野で活動している団体等が共働事業として参加・計画をし、はじめての試みとして人権フィールドワークを開催。一般市民の方を公募し、子どもの人権・障がい者の人権・部落差別に学ぶ事を目的に各施設などで現地学習を行った。 平成25年度は、福岡の皮革産業の歴史や部落差別について学ぶため、福岡市博物館や人権のまちづくり館をめぐる人権フィールドワーク(現地学習会)を実施した。 予 算 額 25年度予算額 54千円 24年度予算額 <54千円>	B	市) 人権啓発センター
人権啓発センター登録団体交流会	参加団体数の増加	全参加団体28団体中、女性・男女共同参画の分野に関する団体は5団体。他の人権分野の団体も含め、交流を図った。 平成25年度は、実施を見送った。 予 算 額 25年度予算額 28千円 24年度予算額 <28千円>	-	市) 人権啓発センター
活力あるまちづくり支援事業	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。 補助金交付団体数 148団体<148団体> (うち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付) 予 算 額 25年度予算額 484,796千円 24年度予算額 <483,185千円>	A	市) コミュニティ推進課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	(具体的施策 5再掲) ①総会・定例会・専門部会の開催(委員:27人) 総会1回・定例会12回・専門部会(随時) ②東区をつどい(講演会等)の開催 参加者:310人(24年度:240人) 講演:「自分を育てる時間の使い方」 講師:村上 祥子 氏(料理研究家) ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:370人(24年度:379人) テーマ「超高齢社会の絆を考える」 (3回シリーズ 共催:東市民センター) ④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:77名(24年度:65人) 「男女共同参画ってなあに」(講義) 講師:アミカス副館長 安部 修 氏 ⑤日本女性会議2013あなん(4名参加)(24年度:4人) ⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会、演舞台に参加) ⑦筑紫少女苑 成人式に参列 ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	(具体的施策 5再掲) ①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 ②男女共同参画講演会(参加者63名) テーマ:男女共同参画社会をめざして 講 師:寺坂カタエ氏 対 象:校区男女共同参画委員、自治協議会長、公民館長・主事、まち館館長 ③日本女性会議への参加(参加者数5名) 分科会・全体会へ参加 ④内閣府男女共同参画フォーラムin福岡市への参加 (各校区複数名) ⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第2ブロック」(参加者41名) 「第5ブロック」(参加者48名) ⑥視察研修(参加者数:37名) 福岡県男女共同参画表彰受賞者講演 視察先:田川郡川崎町 講 師:ラピュタファーム代表 杉本利雄氏 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り、各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(9名)	B	博) 地域振興課
中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援	校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。 校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。	(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者会を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更) ①男女共同参画連絡会 ・定例会(月1回程度)での情報交換 ・定例会での校区活動報告 ・区からの情報提供 ②研修・会議への派遣及び報告 NWECC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同参画連絡会委員を派遣し(計3人)、連絡会で報告を行った。 ③中央区男女共同参画委員研修の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:安部事業推進課長 / 参加者:80名) ④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード	B	中) 企画振興課 ※25年度は、地域振興・支援課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成25年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(6月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、9月、1月) 男女共同参画についての講演会を実施 校区が抱える問題や、お互いの考え方などについてグループワークを実施 校区活性化、取り組み方等についても意見を交換</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年6回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座 2回【参加者数:43名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②南区男女共同参画セミナー【参加者数:94名】 校区男女協及び自治協、校区住民等を対象に開催</p> <p>1)男女共同参画啓発ビデオ上映 「女性の人権シリーズ 夫の虐待を許さない！ —夫婦のモラル・ハラスメント— 家庭に潜む、女性への人権侵害を許さない」</p> <p>2)講演 「男と女のいい関係～DVってなあに？～」 講師:原 健一氏 (佐賀県DV総合対策センター所長)</p> <p>③南区男女共同参画事業・活動報告書の作成 (発行は26年度)【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
城南区男女共同参画連絡会活動支援	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(10回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>④その他 ・「日本女性会議2013あなん」への参加 ・「男女共同参画フォーラム」「アミカス記念祭」「あすばるフォーラム」への参加 ・各校区での広報紙の発行</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「男女共同参画を地域ですすめるには!？」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:79名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 東日本大震災を今一度、女性の視点で捉え、この福岡で暮らす私たちが今後その教訓をどう生かしていくか学んだ。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:137名】 I部 「日本女性会議2013あなん」参加報告 II部 講演「震災後の女性と子どもたち - 避難所生活・DV・そして今 -」 ・講師:八幡 悦子氏(NPO法人 ハーティ仙台・助産師)</p> <p>③「日本女性会議2013あなん」への派遣 3名</p>	B	城) 地域支援課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>早良区男女共同参画協議会活動支援</p>	<p>校区活動の活性化へつながる活動の支援。 男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①早良公民館 91名(68名) 「一人ひとりがいきいきと輝く地域社会に」 福永 宅司氏(子どもの学び館代表取締役) ②田隈公民館 62名(55名) 「輝き続けて90年 寺坂カタエの一代記」 寺坂 カタエ氏 ③原西公民館 65名(66名) 「独身男性育児情報誌編集長からパパになって～社長としてパパとして思うこと」 森 光太郎氏(リトル・ママ代表取締役社長) ④室見公民館 71名(76名) 「婚学」で男女共同参画社会を作る 佐藤 剛史氏(九州大学大学院農学研究院助教) 2. 日本女性会議2013あなんへの参加(委員5名参加) 3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置 4. 委員研修会 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①アミカス記念祭2013参加 4名(2名) 講演会「型にはまらない生き方」講師 養老 孟司氏 ②あすばる男女共同参画フォーラム2013 1名(7名) 基調講演「誰もが輝く社会へ～女性活躍に向けた課題と期待」等 ③研修会「男女共同参画ってなあに？」54名 安部 修氏(アミカス副館長) 5. 地域リーダー育成研修会「早良区男女共同参画フォーラム」 第1部:基調講演「男女共同参画5W1H」 講師 中嶋 玲子氏(前あすばる館長) 第2部:パネルディスカッション「地域でやってみようよ！共同参画」 6. 「早良区のつどい」開催 368名 第1部:早良区男女共同参画協議会事業報告 協議会委員による人権劇「今やらなきゃ!!!」 第2部:講演会「自分を生きるということ」 講師 吉永 みち子氏(ノンフィクション作家)</p>	<p>B</p>	<p>早) 地域支援課</p>
<p>西区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標:平成27年度までに25%とする。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。会議やフェスティバルの開催、広報紙発行を実施した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画表彰等を実施した。 1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2013 「ともしつくり いきいきとしたまち」 230名(300名) 2. 日本女性会議 日本女性会議2013あなん参加 1名(4名) 3. 委員交流・意見交換会 ①6月委員交流会・意見交換会 40名(41名) 実行委員・年間テーマ決定 ②9月委員交流会・意見交換会 31名(32名) 「地域課題の解決に向けた実践」 石田 喜久美 委員(壱岐校区) ③1月委員交流会・意見交換会 26名(33名) 「地域の男女共同参画意識を高めるためには」 岩永 真一 氏(福岡テンジン大学学長) ※地域リーダー育成研修会として開催 ④3月委員交流会・意見交換会 29名(30名) 「私たち今“いきいき”してますか」 4. 全体会 ①40名(6月委員交流会終了後、同日開催) ②29名(3月委員交流会終了後、同日開催) 5. 広報紙「なぎさ」 45号・46号(各号6500部)発行(43・44号は6400部ずつ発行) 年2回、9月・3月に発行している。 6. 男女共同参画表彰 受賞者:1団体(受賞者:5名、3団体)</p>	<p>B</p>	<p>西) 振興課</p>

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
婦人会館フェスタ	婦人会館を利用する団体・グループの相互の連携と協調をはかり、日頃の活動成果を広く市民に発信するとともに交流を図る。	主催事業及び婦人会館利用のグループ・団体との共催事業実施を進め女性グループの組織化や自立化を促進する。 25年度は未実施 参加グループ数〈24年度は26グループ〉 入場者数〈24年度は4,298人〉 ※平成22年度より隔年開催。	-	教) 婦人会館
		予 算 額(予算額は婦人会館における講座・講演会の全体予算) 25年度予算額 1,039千円 24年度予算額 〈1,045千円〉		
具体的施策 10 大学との連携				
未実施				
		予 算 額 25年度予算額 24年度予算額		
具体的施策 11 報道機関との連携				
行政広報物における表現のガイドラインの周知	市職員や市民が必要に応じて閲覧できるように全庁OA、ホームページ等を活用し周知を図る。	(具体的施策 8再掲) 「行政広報物における表現のガイドライン」を全庁OA(市職員向け)に掲載し、周知している。 A4版(全7項 ※福岡県と北九州市と平成12年共同製作) (平成19年改訂) 行政広報物作成の際は、企画・制作を請け負う印刷事業者や広告代理店等に対しても同ガイドラインを配布することとしている。	B	市) 男女共同参画課
広報テレビ番組による広報	合計5回以上広報を行う。	(具体的施策 8再掲) テレビ番組で関連事業などを広報した。 ・お仕事再開プチサロン[12/17RKB今日感テレビ] ・男性カレッジ[2/8KBCANNスーパーJチャンネル]	B	市) 事業推進課
ラジオ番組「こころのオルゴール」	市民の人権意識の向上(マスメディアを活用した市民の人権意識の啓発)	(具体的施策 8再掲) 様々な人権問題をテーマにしたシナリオ全33本中、女性に関する問題をテーマとしたものを3本制作・12回放送した。	B	市) 人権啓発センター

施策の方向 4 国際理解・交流の推進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
具体的施策 12 男女平等に関する国際理解の推進					
海外の女性情報の収集及び提供	蔵書数55種類 リンク数を20にする	○英文資料を収集・提供 蔵書数：52種類(52種類)	B	市) 事業推進課	
		○アミカスHPから7つの海外サイトにリンクしている。〈7〉			
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		
具体的施策 13 在住外国人女性への支援					
区役所業務に係る 在住外国人窓口案内・相談事業	外国人が利用しやすい 相談窓口とする。	東区市民相談室に通訳を配置し、区役所業務に係る案内・相談や市政に係る相談を受け付けた。 相談件数 98件(117件) ・英語 月曜日 ・中国語 木曜日 13:00～16:00	B	総) 国際課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		794千円	〈794千円〉		
在住外国人の生活 環境整備事業(在住 外国人のための日 本語学習支援)	市主催・民間含め日本語ボランティア教室の 延べ数の維持・拡大	市内5か所の市民センターにおいて市民ボランティアとの共働により日本語教室を実施した。 また、他のボランティア日本語教室についても、一覧としたパンフレット「にほんごClass Map」を更新し、区役所窓口などで配布し 在住外国人への周知に努めた。 H25.9月時点の教室数51教室(市主催・民間含む) 〈H24.9月時点の延べ教室数60教室〉	B	総) 国際課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		2,844千円	〈2,804千円〉		

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
外国語版広報印刷物の発行	現状のサービスを維持する。	<p>○外国語情報紙の発行 ((公財)福岡国際交流協会 レインボープラザ編集・発行) ・英語版 隔月刊 5,500部 ・中国語版・韓国語版 隔月刊 各2,500部</p> <p>○リビング・イン・フクオカ(外国人のための生活便利帳) 区役所窓口で無料配付</p>	A	総)国際課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>27,451千円</td> <td><26,450千円)</td> </tr> </table> <p>※予算額は国際部「リビング・イン・フクオカ」予算と福岡国際交流協会「一般相談・情報提供」の合計額</p>	25年度予算額	24年度予算額	27,451千円	<26,450千円)		
25年度予算額	24年度予算額							
27,451千円	<26,450千円)							
国際交流協会事業(レインボープラザにおける相談・情報提供)	現状のサービスを維持する。	<p>○(公財)福岡国際交流協会 レインボープラザでの多言語相談・情報提供(英語・中国語・韓国語) ・法律相談 月2回 ・入国・在留・国籍相談 月1回 ・カウンセリング 週3回 ・健康相談 週1回 ・全体の相談件数8,124件<8,035件> ※外国人に対する相談のみ</p>	A	総)国際課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>26,764千円</td> <td><26,732千円)</td> </tr> </table> <p>※予算額は福岡国際交流協会の「一般相談・情報提供」と「外国人専門相談」の合計額</p>	25年度予算額	24年度予算額	26,764千円	<26,732千円)		
25年度予算額	24年度予算額							
26,764千円	<26,732千円)							
アミカス日本語クラス		<p>アミカス日本語クラスとの共催により講座を実施。 主に国際結婚、夫の仕事などで、福岡に来た外国人女性のための日本語クラスを実施。</p> <p>全40回 参加人数:延べ651人(19カ国)<延べ724人(19カ国)></p>	A	市) 事業推進課 (実施主体: アミカス日本語 クラス)				
外国人母子保健サービス事業	在住外国人の母子に対するサービスの向上	<p>外国語版母子健康手帳の交付 交付数50冊(50冊)</p> <p>※乳幼児健康診査時に英語版のアンケート用紙を使用</p>	B	こ) こども発達支援課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
保健師等の訪問指導等における外国語通訳業務	在住外国人に対するサービスの向上	<p>保健師等が日本語の通じない外国人家庭を訪問する際に、保健相談・指導業務を円滑にするための電話通訳業務</p>	B	こ) こども発達支援課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>863千円</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	863千円	-		
25年度予算額	24年度予算額							
863千円	-							

基本目標 2

女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	21	35	1	0

施策の方向 1 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 14 配偶者等からの暴力防止に向けた意識啓発				
講座・講演会等による配偶者からの暴力防止に関する啓発	配偶者等からの暴力(DV)防止と、被害者発見のために、講座・講演会等により意識啓発を進める。	○福岡市DV防止講演会 「子どもの問題？夫婦の問題？～DV被害への理解と回復～」 講師：重永 侑紀氏(NPO法人にじいるCAP 代表理事) 参加者数：110人<200人> 2. 講座 (1)女性が学ぶ法律講座「DV防止法と離婚」 講師：原田 直子氏(弁護士) 参加者数：26人<13人> (2)「夫・パートナーとの関係を考える ～これってDV～」 講師：アミカス相談員 参加者数：15人<23人>	A	市) 事業推進課 こ) こども家庭課
		予 算 額 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">25年度予算額 128千円</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">24年度予算額 <100千円></td> </tr> </table>		
25年度予算額 128千円	24年度予算額 <100千円>			
市政だよりやホームページ等を活用した広報、啓発	配偶者等からの暴力(DV)防止と、被害者発見のために、様々な機会をとらえて意識啓発を進める。	○広報紙「アミカスタイムズ」7,000部発行 創刊号記事 「DV被害者支援の第一歩」 第2号記事 「若い恋人間でおこるデートDV」 ○市政だより、ホームページ、配偶者暴力相談支援センターカード・リーフレット・ステッカーの配布を行い、DV防止と相談窓口の啓発を行った。 <平成24年度> ・市政だより、市ホームページ(WEB版・携帯電話版)への掲載 ・配偶者暴力相談支援センターカード・リーフレット・ステッカー配布 ・デートDV防止啓発ポスター配布 <平成25年度> ・市ホームページ(WEB版・携帯電話版)への掲載 ・配偶者暴力相談支援センターカード・リーフレット・ステッカー配布 ・デートDV防止啓発ポスター配布	B	市) 事業推進課 こ) こども家庭課
		予 算 額 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">25年度予算額 479千円</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">24年度予算額 <409千円></td> </tr> </table>		
25年度予算額 479千円	24年度予算額 <409千円>			
高校生等の若年層に向けたデートDV(交際相手からの暴力)に関する教育啓発	高校生等の若年層のDVに関する理解を深め、DVの未然防止に取り組む。	市立高校4校で、デートDV防止教育講演会を行った。 ・参加者数：1,232人<1,211人>	B	こ) こども家庭課
		予 算 額 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">25年度予算額 216千円</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">24年度予算額 <216千円></td> </tr> </table>		
25年度予算額 216千円	24年度予算額 <216千円>			
相談窓口情報を掲載したカード、リーフレットの作成、配布	配偶者等からの暴力(DV)防止と、被害者発見のために、DVに関する意識啓発と相談窓口の周知を行う。	○アミカス相談室リーフレット配布 作成3,000部<3000部> ○配偶者暴力相談支援センターカード・リーフレット・ステッカーの配布 ・配布数：10,000部<19,000部> ・配布先：市施設、保育園、幼稚園、大学、各種支援団体 医療機関、県警、遊技業協同組合 など	B	市) 事業推進課 こ) こども家庭課
		予 算 額 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">25年度予算額 409千円</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">24年度予算額 <409千円></td> </tr> </table>		
25年度予算額 409千円	24年度予算額 <409千円>			

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 15 相談体制の充実				
配偶者暴力相談支援センターにおける相談	専用電話による相談を行い、各区保健福祉センター、アミカスと連携し、被害者の相談から自立支援までの切れ目のない支援を目指す。	配偶者暴力相談支援センターにおいてDV被害相談を実施した。 ・相談件数 416件<395件> ・うちDV相談件数 371件<352件>	B	こ) こども家庭課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 3,613千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 <3,753千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 3,613千円	24年度予算額 <3,753千円>			
区保健福祉センター家庭児童相談室における相談	身近な相談窓口としての機能を充実し迅速かつ的確な対応を目指す。	婦人保護相談 延べ件数 5,449件<5,301件> 母子自立相談 延べ件数 8,409件<8,179件> 家庭児童相談 延べ件数 14,702件<10,916件> うち、DV相談 延べ件数 2,894件<3,016件> (※婦人保護相談に含む)	B	こ) こども家庭課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 94,389千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 <94,389千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 94,389千円	24年度予算額 <94,389千円>			
アミカス相談室	日常生活の中で直面する様々な問題について相談員などが相談を受け、問題解決に向けて援助する。	(1)相談業務 ①総合相談(相談・面接) ②アミカスDV相談ダイヤル ③法律相談 ④男性のための相談ホットライン (2)講座などによる啓発活動 ①法律講座 年4回<6回> 参加者 延べ76名<199名> ②グループワーク 年2講座12回 参加者 延べ60人<59人> ③DV講座 2回<2回> 参加者15名<14名> ④自主グループ支援 6回<13回>24人<55人> (3)相談員の会議・研修 ①DV相談窓口の相談員連絡会議 1回<1回> ②事例検討・研修会 年5回<5回> <事業実績> ○相談件数 4,210件<4,764件> 再掲:DV相談 796件<1,097件>	B	市) 事業推進課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 23,563千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 <23,372千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 23,563千円	24年度予算額 <23,372千円>			
男性のための相談ホットライン	男性が抱える様々な問題に男性相談員が相談に応じる。	男性が抱える様々な問題に男性相談員が相談に応じる。 月2回(2時間) 相談員:臨床心理士等の男性相談員 相談件数: 51件<43件>	B	市) 事業推進課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 -</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 <198千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 -	24年度予算額 <198千円>			
精神保健相談	市民および関係者が本事業を知り活用する。	DVに関する相談 43件<48件> 全相談件数 70,884件<68,089件>	B	保) 保健予防課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 8,368千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 <8,346千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 8,368千円	24年度予算額 <8,346千円>			

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
法的助言が必要な被害者に対する法律相談	被害者に無料法律相談を実施し、被害者の自立支援を進める。	○アミカス 夫婦や親子間・相続、金銭、不動産などについて、女性弁護士が相談に応じる。 昼間：月4回(1人30分×6人) 夜間：月1回(1人30分×4人) 実績：250件<287件>(内 DVに関する相談 32件<33件>) ○配偶者暴力相談支援センター 法的な助言が必要なDV被害者に対して、弁護士による法律相談を実施。 法律相談件数 47件<42件>	A	市) 事業推進課 こ) こども家庭課	
		予 算 額			
		25年度予算額 1,822千円	24年度予算額 <504千円>		
相談員研修の充実	相談員のスキル向上を図り、的確な被害者支援を行う。	○アミカス ①DV相談窓口の相談員(家児相、配暴センター、アミカス)対象の事例検討会(スーパーバイズ) 年3回<3回> ②アミカス相談室の相談員対象の事例検討会(スーパーバイズ) 年2回<2回> ○こども家庭課主催研修等 市関係職員、母子生活支援施設職員などに対して、DVに関する研修を実施。 ・研修内容：法律相談に関する研修<事例検討研修> ・参加者数：26名<43名> ○国、県等主催研修への参加 ・アミカス相談員 延べ 6人<4人> ・区家庭相談員 延べ 99人<89人> ・配暴センター相談員 延べ 18人<16人>	B	市) 事業推進課 こ) こども家庭課	
		予 算 額			
		25年度予算額 158千円	24年度予算額 <81千円>		
配偶者等からの暴力相談・支援に関わる職員に対する研修の推進	関係職員のスキル向上を図り、的確な被害者支援を行う。	市民と直接接する機会が多い地域の民生委員等を対象に研修講師を派遣。また、出前講座を実施。 ・実施回数：8回<5回> ・参加人数：197人<137人>	B	こ) こども家庭課	
		予 算 額			
		25年度予算額 144千円	24年度予算額 <144千円>		
相談員連絡会議における情報交換等による連携強化	関係機関が連携して被害者の立場に立った切れ目のない支援を行う。	○アミカス 各区家庭児童相談室・配偶者暴力相談支援センター・アミカス相談室の相談員連絡会議 年1回<1回>	B	市) 事業推進課 こ) こども家庭課	
		予 算 額			
		25年度予算額 2千円	24年度予算額 <2千円>		
具体的施策 16 保護体制の充実					
危機が急迫している場合の被害者及び同伴の子どもの安全確保及び一時保護	迅速かつ的確な対応を行う。	家庭内で暴力等をうけた母子等を緊急かつ一時的に保護した。 県・市・民間施設での保護世帯数 67世帯<73世帯>	A	こ) こども家庭課	
		予 算 額			
		25年度予算額 7,781千円	24年度予算額 <8,191千円>		
シェルターを運営する民間支援団体の活動支援	民間シェルターを支援し、連携して被害者の保護・支援に取り組む。	DV被害者保護のためのシェルターを運営している民間団体に対して、補助金を交付した。 2団体への補助金交付 1,000千円<1,000千円>	A	こ) こども家庭課	
		予 算 額			
		25年度予算額 1,000千円	24年度予算額 <1,000千円>		

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
具体的施策 17 被害者の自立のための支援					
市営住宅入居における優遇措置及び一時使用制度の利用		市営住宅優先入居 ○市営住宅の入居者募集において、DV被害者を優遇することで、居住の安定を図り、その自立を支援する。 利用件数 2件<7件> ○配偶者からの暴力(DV)被害者の居住の安定を図り、その自立を支援する観点から、目的外使用により住宅を使用させる。 利用件数 7件<20件>	A	住都) 住宅管理課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		
ひとり親家庭支援センターにおける就業支援の利用(就業支援講習会、就業相談、無料職業紹介、自立支援プログラム策定事業)	今後も当該サービスを継続して実施する。	ひとり親家庭支援センター 母子家庭等の各種相談や就業支援講習会等を行い、母子家庭等の自立を支援する。 就職者数:184人<166人> 内訳(重複計上あり) 就業支援講習会:58人<86人> 就業相談:143人<143人> 無料職業紹介:4人<8人> プログラム策定事業:37人<15人>	A	こ) こども家庭課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		58,749千円	<58,400千円>		
アミカスにおける就業支援の利用(女性の就職支援セミナー、就業相談、資格取得・技能習得講座)	女性の再就職や職業能力の向上を支援するための講座を開催する。	1. 女性の就職支援セミナー:年10回 115人参加 2. お仕事再開プチ講座:年3回 28人参加 3. 託児付き個別就職相談会:年9回 15人参加 3. 資格取得(福岡地区職業訓練協会と共催) 商業簿記、パソコンワード、パソコンエクセル、色彩検定	B	市) 事業推進課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		
法的助言が必要な被害者に対する法律相談	被害者に無料法律相談を実施し、被害者の自立支援を進める。	(具体的施策 15再掲) ○アミカス 夫婦や親子間・相続、金銭、不動産などについて、女性弁護士が相談に応じる。 昼間:月4回(1人30分×6人) 夜間:月1回(1人30分×4人) 実績:250件<287件>(内 DVに関する相談 32件<33件>) ○配偶者暴力相談支援センター 法的な助言が必要なDV被害者に対して、弁護士による法律相談を実施。 法律相談件数 47件<42件>	A	市) 事業推進課 こ) こども家庭課	
心理的ケアが必要な被害者に対するカウンセリング	配偶者等からの暴力被害者に対して、臨床心理士等によるカウンセリングを実施し、被害者の精神的負担の軽減を図る。	○アミカス相談室 ・総合相談におけるDV相談への対応 カウンセリング 237回<267回> ○配偶者暴力相談支援センター ・件数:6回<5回>	B	市) 事業推進課 こ) こども家庭課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		288千円	<288千円>		
アミカスDV被害者支援のためのグループワーク	DVに悩んでいる(いた)人たちが、ワークを通して支え合い、相談者の精神的な安定や自立した生活の実現を目指す。	DVで悩んでいる人達が、語り合う、ワークを通して気持ちの対処などについて学ぶ。 グループワーク 年2講座<12回> 参加者 延べ60人<59人>	B	市) 事業推進課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
具体的施策 18 関係団体との連携								
福岡市女性に対する暴力防止連絡会議による国、県、民間団体等との連携	関係機関のスムーズな連携により、DVの予防啓発に各機関が協力して取り組むとともに、相談者に対してより効果的な支援が出来るようになることを目指す。	<p>開催回数:1回<1回> 委員構成:(外部)10機関・団体<10機関・団体> (市内部)5所屬<5所屬> (オブザーバー)1機関<1機関> 内容:・福岡市DV防止講演会の共催について ・福岡市におけるDV相談等について ・「配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律の一部を改正する法律」及び「ストーカー行為等に関する法律の一部を改正する法律」の公布について ・各機関の取り組みについて</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>66千円</td> <td><66千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	66千円	<66千円>	B	こ) こども家庭課
25年度予算額	24年度予算額							
66千円	<66千円>							
相談や支援に関わる庁内関係各課の連絡会議や情報交換による連携	関係職員のスキル向上を図り、的確な被害者支援を行う。	<p>○配偶者暴力相談支援センター市関係職員、母子生活支援施設職員などに対して、DVに関する研修を実施。 ・研修内容:法律相談に関する研修<事例検討研修> ・参加者数: 26名<43名></p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>81千円</td> <td><81千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	81千円	<81千円>	B	こ) こども家庭課
25年度予算額	24年度予算額							
81千円	<81千円>							

施策の方向 2 セクシュアル・ハラスメント等及び性犯罪の防止

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
具体的施策 19 セクシュアル・ハラスメント等の防止に向けた広報・啓発								
勤労者総合啓発事業	勤労者総合啓発誌「働くあなたのガイドブック」をできるだけ多くの窓口に配布し、労働関係の法令や助成制度、窓口の基礎知識の周知に努める。	<p>労働関係法令などを掲載した勤労者総合啓発誌を作成し、市民をはじめ労働団体・企業主等に配布することにより勤労者の生活及び福祉の向上を図る。 啓発誌「働くあなたのガイドブック」改訂版の作成及び配布 ページ数:52ページ 配布先:国・県等の関係機関、情報プラザ、区役所、市内高校等 ※平成25年度改訂版 10,000部作成</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>650千円</td> <td><100千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	650千円	<100千円>	A	経) 就労支援課
25年度予算額	24年度予算額							
650千円	<100千円>							
具体的施策 20 市職員のセクシュアル・ハラスメントの防止								
相談窓口	職員の意識啓発を図るとともに、苦情相談の対応を行う。	<p>○事業実績 1 職員向けの啓発パンフレットの周知 2 研修センターにおける階層別研修の実施 3 職員健康課と各任命権者にセクハラに関する相談窓口を設置</p> <p>○セクハラ苦情相談件数 市長事務部局 2 計2件 <市長事務部局 1 計1件></p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-	B	総) コンプライアンス・安全衛生課 ※25年度は、職員健康課及びコンプライアンス推進課 消) 職員課 水) 総務課 交) 総務課 教) 職員課 教) 教職員課
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課						
各種セクシュアル・ハラスメント防止研修	階層別研修において、セクシュアルハラスメント防止に関する科目・内容を実施し、セクシュアル・ハラスメントがない職場づくりを支援する。	<p>○研修名：人権行政課長研修 科目名：「人権ワークショップ」 対象者：課長級昇任2年目76名 内容：外部講師による講演・ワーク</p> <p>○研修名：人権行政係長研修 科目名：「男児共同参画は出来ている？」 対象者：係長級昇任2年目219名 内容：所管課による講義</p> <p>○研修名：総括主任研修 科目名：「公務員倫理」 対象者：総括主任級昇任者等199名 内容：所管課による講義</p> <p>○研修名：主任研修 科目名：「公務員倫理」 対象者：主任級昇任者等184名(176名) 内容：所管課による講義</p> <p>○研修名：人権行政採用2年目研修 科目名：「人権ワークショップ」 対象者：採用2年目職員330名 内容：外部講師による講演・ワーク</p> <p>○研修名：新規採用職員研修(民間企業等職務経験者、中途採用者含む) 科目名：「公務員倫理(職員の責務)」・「人権学習」 対象者：新規採用職員331名(310名) 内容：所管課による講義</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">予 算 額</td> </tr> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	予 算 額		25年度予算額	24年度予算額	-	-	A	(総) 人材育成課
予 算 額										
25年度予算額	24年度予算額									
-	-									
職場研修支援	人権尊重の視点から、人権に関する職場研修のテーマのひとつに提示したり、ビデオ等の教材を貸し出すことにより職場研修を支援する。	<p>○講師の紹介等研修情報の提供やDVD等の貸出</p> <p>○職場研修を実施する際に講師謝礼の経費を援助</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">予 算 額</td> </tr> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>4,600千円</td> <td>5,350千円</td> </tr> </table>	予 算 額		25年度予算額	24年度予算額	4,600千円	5,350千円	A	(総) 人材育成課
予 算 額										
25年度予算額	24年度予算額									
4,600千円	5,350千円									
セクシュアル・ハラスメント防止研修	継続して研修を実施することにより、職員の意識の向上を図る。	<p>職場研修で、局内の27所屬において男女共同参画(人権、セクシュアルハラスメント等)に係る問題について研修を実施した。 参加者：656名(78回実施) 【職員567名、嘱託員80名、臨時職員9名】</p> <p>〈平成24年度 局内25所屬, 参加者：638名(79回実施)〉</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">予 算 額</td> </tr> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	予 算 額		25年度予算額	24年度予算額	-	-	A	(交) 総務課教習所
予 算 額										
25年度予算額	24年度予算額									
-	-									
具体的施策 21 教育現場におけるセクシュアル・ハラスメントの防止										
セクシュアル・ハラスメント防止に関する研修	教育現場におけるセクシュアル・ハラスメントをなくす。	<p>・セクシュアル・ハラスメント防止に関する研修を全市立学校で実施</p> <p>・綱紀肅正の通知において、セクシュアル・ハラスメントの防止について全市立学校を指導</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">予 算 額</td> </tr> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	予 算 額		25年度予算額	24年度予算額	-	-	B	教委) 教職員課
予 算 額										
25年度予算額	24年度予算額									
-	-									

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 22 相談の充実				
アマカス相談室	日常生活の中で直面する様々な問題について相談員などが相談を受け、問題解決に向けて援助する。	(具体的施策 15再掲) (1)相談業務 ①総合相談(相談・面接) ②アマカスDV相談ダイヤル ③法律相談 ④男性のための相談ホットライン (2)講座などによる啓発活動 ①法律講座 年4回(6回) 参加者 延べ76名(199名) ②グループワーク 年2講座12回 参加者 延べ60人(59人) ③DV講座 2回(2回) 参加者15名(14名) ④自主グループ支援 6回(13回)24人(55人) (3)相談員の会議・研修 ①DV相談窓口の相談員連絡会議 1回(1回) ②事例検討・研修会 年5回(5回) 〈事業実績〉 ○相談件数 4,210件(4,764件) 再掲:DV相談 796件(1,097件)	B	市) 事業推進課
人権啓発相談室	同和問題をはじめ様々な人権問題に関する相談を受け付ける。	人権相談について、福岡人権擁護委員協議会へ依頼し、人権擁護委員(人権相談員)を週5日配置した。 ・人権相談件数216件(198件) うち女性問題の相談件数12件(3件)	A	市) 人権啓発センター
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 37,123千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 <36,974千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 37,123千円	24年度予算額 <36,974千円>			
教育実習生に対するセクハラ相談窓口	教育実習生に対するセクハラ根絶	教育実習生対象のセクハラ相談窓口の周知	B	教委) 教職員課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 -</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 -</td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 -	24年度予算額 -			
具体的施策 23 性犯罪被害の防止及び犯罪被害者の支援				
性犯罪抑止啓発事業	性犯罪認知件数の減少(政令市における人口千人あたりワースト10位以下)	○性犯罪防止講座の実施 開催回数:27回 参加人数:2,452名 ○性犯罪防止シンボルマークを活用した啓発物(リーフレット・ポスター、防犯ブザー等)の作成及び配布 ○女性向け雑誌へ性犯罪防止啓発記事掲載 ○官民共同で組織する「女性・子ども安全安心ネットワークふくおか」への参加 ○事業者との協定に基づく啓発活動の実施	C	市民) 生活安全課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 8,400千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 <6,000千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 8,400千円	24年度予算額 <6,000千円>			
犯罪被害者対策	犯罪被害者の相談体制の強化 犯罪被害者支援に係る関係機関、関係課の連携強化	○犯罪被害者のための総合相談窓口の運営 福岡県、福岡市、北九州市3者の共同事業として福岡犯罪被害者総合サポートセンターを運営 ○福岡犯罪被害者支援センター主催「市民公開フォーラム」共催	B	市民) 生活安全課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 3,105千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 <3,072千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 3,105千円	24年度予算額 <3,072千円>			

施策の方向 3 生涯にわたる健康支援

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
具体的施策 24 青少年への意識啓発								
思春期相談		<p>思春期集団支援事業の実施や関係機関との連携による思春期の子どもたちへの相談体制の充実を図るもの。</p> <p>○思春期集団支援事業 思春期後半の心のケアを必要とするひきこもり気味の子どもたちが社会的自立支援の場として利用している。 実施回数：140回<141回> 参加者数：800人<1,038人></p> <p>○思春期相談関連懇話会 思春期相談に関わる関係機関等の連携強化を図る。 2回開催<2回></p>	B	こ) こども相談課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>5,205千円</td> <td><5,173千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	5,205千円	<5,173千円>		
25年度予算額	24年度予算額							
5,205千円	<5,173千円>							
思春期ひきこもり等相談事業 ※事業名修正		<p>思春期後半のひきこもりの子どもの家庭に思春期訪問相談員を派遣し、状態の改善を図ることを目的としたもの。</p> <p>○ひきこもり等の子どもへの相談員派遣事業 派遣件数：6件<13件>、派遣回数：77回<109回> 派遣相談員養成講座：5回90人<5回 90人></p> <p>○ひきこもり等ピアサポーター交流・研修会 実施回数：2回<2回>、参加者数：28人<29人></p> <p>○ひきこもり等保護者交流会 実施回数：4回<4回>、参加者数59人<48人> 保護者交流会登録者数：60人<59人></p> <p>○思春期ひきこもり講演会 実施回数：1回<1回>、参加者数52人<72人></p>	B	こ) こども相談課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>907千円</td> <td><924千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	907千円	<924千円>		
25年度予算額	24年度予算額							
907千円	<924千円>							
女の子専用相談電話		<p>女の子専用相談電話を設置し、女の子本人からの相談を女性相談員が受ける。 ※具体的施策番号36「こども総合相談センター総合相談事業」の中の一事業。 相談受理件数：450件<506件></p> <p>予算額：具体的施策番号36 こども総合相談センター総合相談事業参照</p>	A	こ) こども相談課				
		<p>予算額(具体的施策番号36こども総合相談センター総合相談事業参照)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>461,785千円</td> <td><480,022千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	461,785千円	<480,022千円>		
25年度予算額	24年度予算額							
461,785千円	<480,022千円>							
性感染症予防対策		<p>各区保健所に希望のあった学校へ、「性感染症予防教室」という形で保健所医師等が講師となり、HIV感染やエイズ、性感染症予防についての教室を実施。</p> <p>○実施校(25年度) 小学校：実施なし<実施なし> 中学校：5校914名<4校801名> 高等学校：9校1,468名<2校360名> 専門学校短大等：実施なし<実施なし> 養護教諭：1回22名<1回17名></p>	B	保) 保健予防課				
		<p>予 算 額(エイズ対策費)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>78千円</td> <td><87千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	78千円	<87千円>		
25年度予算額	24年度予算額							
78千円	<87千円>							

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
性教育の手引きに基づく指導	性教育の手引き「すばらしい成長」を活用した性教育の推進 (小・中)	健康教育年間計画を作成し、「性教育の手引き」を活用し、発達段階に応じた性教育(小, 中)を実施。 「性教育の手引き」内容 ①性教育の考え方, 進め方 ②小・中学校における指導の実際 ③Q&A ④個別指導について 各小・中学校に対し配付。 予 算 額 25年度予算額 - 24年度予算額 -	A	教) 学校指導課
性教育(エイズ教育)指導者研修会の開催	性教育指導者研修会の参加率の向上 各学校1名以上の参加	○性教育指導者研修会の実施 場 所:教育センター 実施日:平成25年8月30日<平成24年8月20日> 参加者:市内全小, 中, 高, 特別支援学校, 幼稚園の担当者 (※各校担当者1名) 予 算 額 25年度予算額 - 24年度予算額 -	B	教) 学校指導課
情報モラル教育の推進	情報モラル指導を全小・中・高等学校で実施し, 児童生徒の意識を高める。	○情報モラル指導の実施率 小学校:100%, 中学校:100%<昨年度小:100%,中:100%> インターネット・携帯電話等を介した児童生徒の被害防止のために, 保護者を対象とした情報モラルに関する講演会を全校で実施 予 算 額 25年度予算額 - 24年度予算額 -	B	教) 学校指導課
具体的施策 25 母性機能の社会的重要性に関する認識の浸透				
マタニティスクール	母性機能の保護の必要性についての認識を広く浸透させる。	妊婦及びその家族に対して妊娠・出産・育児に対する知識の普及を行う。また,計画出産のための正しい知識と技術の普及を行う。 開設回数 257 回<216回> 参加者数 (実)1,101人<1,570人> (延)2,977人<3,080人> 予 算 額 ※予算額は一般母子相談事業の額 25年度予算額 64,097千円 24年度予算額 <4,636千円>	A	こ) こども発達支援課

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
働くママとパパのママニティスクール	働く夫婦を対象に保健所で実施されているママニティスクールを補てんするため実施する。	<p>年10回開催 「妊娠中の身体づくり、分娩について」 「沐浴の説明とデモンストレーション」 「妊婦体験」 「育児体験とグループワーク」</p> <p>参加者数：284名<358名></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>25年度予算額 661千円</td> <td>24年度予算額 <695千円></td> </tr> </table>	予 算 額		25年度予算額 661千円	24年度予算額 <695千円>	B	<p>こ) こども発達支援課</p> <p>※委託先 福岡県助産師会</p>
予 算 額								
25年度予算額 661千円	24年度予算額 <695千円>							
勤労者総合啓発事業	勤労者総合啓発誌「働くあなたのガイドブック」をできるだけ多くの窓口に配布し、労働関係の法令や助成制度、窓口の基礎知識の周知に努める。	<p>(具体的施策 19再掲) 労働関係法令などを掲載した勤労者総合啓発誌を作成し、市民をはじめ労働団体・企業主等に配布することにより勤労者の生活及び福祉の向上を図る。 啓発誌「働くあなたのガイドブック」改訂版の作成及び配布 ページ数：52ページ 配布先：国・県等の関係機関、情報プラザ、区役所、市内高校等 ※平成25年度改訂版 10,000部作成</p>	A	経) 就労支援課				
具体的施策 26 出産前後の女性の健康管理の支援								
妊婦健康診査	妊産婦に対する健康管理の充実を図るため、健康診査を実施する。	<p>妊婦の健康管理の充実を図るため、医療機関で健康診査を実施している。平成21年度より助成回数を14回に拡充。 ○妊婦一般健康診査 助成回数 14回<14回> 延べ受診者数 185,053人<180,507人></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>25年度予算額 1,362,489千円</td> <td>24年度予算額 <1,358,874千円></td> </tr> </table>	予 算 額		25年度予算額 1,362,489千円	24年度予算額 <1,358,874千円>	A	こ) こども発達支援課
予 算 額								
25年度予算額 1,362,489千円	24年度予算額 <1,358,874千円>							
母子巡回健康相談	1回の平均相談者数を16年度の初期値44.4人から増加させる。	<p>母親の妊娠、出産、育児に関する不安や悩みを解消し、さらに母子の健全育成を図るため、公民館などの市民の身近な場所で健康相談と「親子歯科保健教室」などの健康教育を行う。 出勤回数 467回<467回> 相談総数 20,788件<19,932件></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>25年度予算額 24,408千円</td> <td>24年度予算額 <22,086千円></td> </tr> </table>	予 算 額		25年度予算額 24,408千円	24年度予算額 <22,086千円>	A	こ) こども発達支援課
予 算 額								
25年度予算額 24,408千円	24年度予算額 <22,086千円>							
母親の心の健康支援事業	<p>育児に「心配がある(13年度初期値43%)」、「疲れた(13年度初期値23.6%)」と答えた母親の割合：減少</p> <p>育児は「楽しい(13年度初期値82.6%)」と答えた母親の割合：増加</p>	<p>母子保健訪問において、母親の心の健康状態の把握に努めている。その際、継続的な支援が必要な場合には、母子訪問指導員(助産師)及び校区担当保健師による継続訪問を行う。また、必要に応じ具体的な育児指導等を行う「こども家庭支援員」の派遣も行っている。 継続訪問 486件<494件>(実数) 子ども家庭支援員派遣 136家庭<112家庭>(実数)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>25年度予算額 9,083千円</td> <td>24年度予算額 <9,220千円></td> </tr> </table>	予 算 額		25年度予算額 9,083千円	24年度予算額 <9,220千円>	A	こ) こども発達支援課
予 算 額								
25年度予算額 9,083千円	24年度予算額 <9,220千円>							

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
特定不妊治療費助成事業	不妊に悩む夫婦の精神的負担を軽減するため、医学的な相談や心の悩みに応じるとともに、経済的負担の軽減をはかる。	<p>子どもを望む夫婦に対し、特定不妊治療費の一部を助成するもの。また、不妊に関する悩みや相談を専門医師または助産師等により相談を行った。</p> <p>○特定不妊治療費助成 年度内に指定医療機関で特定不妊治療を受けた夫婦に対し、費用の一部(以下)を助成。 →特定不妊治療費にかかる費用の全額(※保険診療を除く)→15万円(一部の治療は7.5万円) のどちらか低い額を、初年度は年3回まで、2年度目以降は年2回を限度に通算5年度・通算10回まで助成。</p> <p>助成人数 1,131人 <1,020人> 専門相談件数 13件 <17件> 一般相談件数 3,116件 <2,629件></p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>220,131千円</td> <td><212,580千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	220,131千円	<212,580千円>	A	こ) こども発達支援課
25年度予算額	24年度予算額							
220,131千円	<212,580千円>							
具体的施策 27 ライフステージに応じた心身の健康管理の支援								
マンモグラフィによる乳がん検診	がん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康知識の普及及び啓発を図る。	<p>受診者数:20,802人 受診率:17.2% <受診者数:20,494人 受診率:18.0%></p> <p>平成21～25年度は、女性特有のがん健診推進事業として、40, 45, 50, 55, 60歳の方に対し、乳がん検診無料クーポン券及び検診手帳を送付。</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>132,886千円</td> <td><71,184千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	132,886千円	<71,184千円>	B	(保) 健康増進課
25年度予算額	24年度予算額							
132,886千円	<71,184千円>							
精神保健相談及びうつ病予防対策	市民および関係者が本事業を知り活用する。 うつ病に関する普及啓発をすすめる。	<p>○精神保健相談: 1 専門医による定例相談 201人<206人> 2 相談員による常時相談 69,517人<67,792人></p> <p>○うつ病予防対策(自殺予防対策事業) 1 うつ病に関する教室、講座等を各区保健福祉センターで開催。 全107回2,517人<全126回2,794人></p> <p>予 算 額(※一般精神保健相談等事業、自殺予防対策事業)</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>29,311千円</td> <td><25,139千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	29,311千円	<25,139千円>	B	(保) 保健予防課
25年度予算額	24年度予算額							
29,311千円	<25,139千円>							
心の健康づくり事業		<p>○心の健康づくり講演会の実施 1回 参加者数(延べ)199人 <1回 参加者数(延べ)146人></p> <p>○職場のメンタルヘルス向上(講師紹介・派遣) 5回 参加者数(延べ)197人 <8回 参加者数(延べ)270人></p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>744千円</td> <td><866千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	744千円	<866千円>	B	(保) 精神保健福祉センター
25年度予算額	24年度予算額							
744千円	<866千円>							
こころの健康相談事業		<p>こころの健康(悩みや不安)に関する多様な相談に対応。 相談件数 電話3,281件<2,942件> 面接465件<481件></p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>15,179千円</td> <td><15,147千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	15,179千円	<15,147千円>	B	(保) 精神保健福祉センター
25年度予算額	24年度予算額							
15,179千円	<15,147千円>							

基本目標2 女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
ひきこもり相談		<p>「社会的ひきこもり」の面接相談を受け、必要な助言・支援を行う。</p> <p>○精神保健福祉センター 相談件数 延べ26件(35件)</p> <p>○ひきこもり成年地域支援センター 相談件数 延べ2,098件(1,946件)</p>	B	(保) 精神保健福祉センター				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>13,831千円</td> <td>13,523千円</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	13,831千円	13,523千円		
25年度予算額	24年度予算額							
13,831千円	13,523千円							
健康管理の支援のための講座		<p>「区民と医師との会」公開講演会 全2回(2回)</p> <p>◆からだにやさしい漢方最新！ ～東洋医学を上手に取り入れて女子力アップ♪漢方医の診察を体験してみよう♪～ 講師：石東麻里子(ミディ漢方医院福岡院長) コーディネーター：寺澤健二郎(福岡市南区医師会副会長)</p> <p>◆知っていますか？ロコモティブ・シンドローム ～今日から始めるロコモ予防～ 講師：藤田芳憲(藤田整形外科医院院長) コーディネーター：寺澤健二郎(福岡市南区医師会副会長)</p> <p>参加者数：延べ290人(239人) 共同主催：南区医師会「区民と医師との会」</p>	B	(市) 事業推進課				
☆アミカス講座		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
アミカス相談室	日常生活の中で直面する様々な問題について相談員などが相談を受け、問題解決に向けて援助する。	<p>(具体的施策 15再掲)</p> <p>(1)相談業務 ①総合相談(相談・面接) ②アミカスDV相談ダイヤル ③法律相談 ④男性のための相談ホットライン</p> <p>(2)講座などによる啓発活動 ①法律講座 年4回(6回) 参加者 延べ76名(199名) ②グループワーク 年2講座12回 参加者 延べ60人(59人) ③DV講座 2回(2回) 参加者15名(14名) ④自主グループ支援 6回(13回)24人(55人)</p> <p>(3)相談員の会議・研修 ①DV相談窓口の相談員連絡会議 1回(1回) ②事例検討・研修会 年5回(5回)</p> <p>〈事業実績〉 ○相談件数 4,210件(4,764件) 再掲：DV相談 796件(1,097件)</p>	B	(市) 事業推進課				
性教育の手引きに基づく指導	性教育の手引き「すばらしい成長」を活用した性教育の推進(小・中)	<p>(具体的施策 24再掲)</p> <p>健康教育年間計画を作成し、「性教育の手引き」を活用し、発達段階に応じた性教育(小、中)を実施。</p> <p>「性教育の手引き」内容 ①性教育の考え方、進め方 ②小・中学校における指導の実際 ③Q&A ④個別指導について 各小・中学校に対し配付。</p>	A	(教) 学校指導課				
性教育(エイズ教育)指導者研修会の開催	性教育指導者研修会の参加率の向上 各学校1名以上の参加	<p>(具体的施策 24再掲)</p> <p>○性教育指導者研修会の実施 場 所：教育センター 実施日：平成25年8月30日(平成24年8月20日) 参加者：市内全小、中、高、特別支援学校、幼稚園の担当者(※各校担当者1名)</p>	B	(教) 学校指導課				

基本目標 3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	38	38	7	0

施策の方向 1 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 28 企業等への広報・啓発				
福岡市こども・子育て審議会	福岡市子ども総合計画の進捗状況等について協議する。	平成25年9月に福岡市児童福祉審議会と福岡市次世代支援推進協議会を統合再編し、設置した。 新・福岡市子ども総合計画の進捗状況の報告、第4次福岡市子ども総合計画素案の諮問等を行った。 (総会2回、専門委員会1回開催)	B	こ) 総務企画課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">予 算 額</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">25年度予算額 2,199千円</td> <td style="width: 50%;">24年度予算額 (631千円)</td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 2,199千円	24年度予算額 (631千円)			
市民や企業と共働した子育て支援	平成26年度末までに、賛同企業・団体数を1500にする。	子どもの健やかな成長を考える“きっかけ”となるよう、企業・団体に対して、“「い～な」ふくおか・子ども週間”賛同を呼びかけた。 ・平成26年3月末現在賛同数 928企業・団体 (平成25年3月末賛同数 900企業・団体) ・働く人の認知度を向上するため、週間に合わせ、市営地下鉄駅構内で通勤時間帯に放送 ・“「い～な」ふくおか・子ども週間”ホームページに賛同企業・団体名及び取り組みを掲載するとともに、呼びかけ強化月間(8～10月)を設定し、市役所全庁に呼びかけ ・ノー残業デーの実施 ・子ども参観日の実施(8月2日) ・経済誌掲載	B	こ) 総務企画課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">予 算 額</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">25年度予算額 4,625千円</td> <td style="width: 50%;">24年度予算額 (4,432千円)</td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 4,625千円	24年度予算額 (4,432千円)			
「い～な」ふくおか応援団	関係局との連携を図り、市内のワーク・ライフ・バランスの推進を図る。	○「い～な」ふくおか応援団会議の開催 ○社会貢献優良企業優遇制度 (次世代育成・男女共同参画支援事業分) ○他の制度・事業との連携 ・「エコ&い～な」早帰りチャレンジデー	B	こ) 総務企画課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">予 算 額</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">25年度予算額 -</td> <td style="width: 50%;">24年度予算額 -</td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 -	24年度予算額 -			

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
福岡市次世代育成支援フォーラム	セミナーの実施により、企業のワーク・ライフ・バランス推進を図る。	<p>○ワーク・ライフ・バランスセミナー 「次世代へ、より良い社会を残すために・・・」 日時:平成26年1月22日(水) 場所:アミカス ホール 主催:福岡市 参加者数:105名(70名) 〔講演〕 認定NPO法人フローレンス 代表理事 駒崎 弘樹 氏</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>610千円</td> <td>〈946千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	610千円	〈946千円〉	A	市) 男女共同参画課 ※25年度は、 こ) 総務企画課
25年度予算額	24年度予算額							
610千円	〈946千円〉							
「い〜な」ふくおかワーク・ライフ・バランスネットワーク形成事業	産・学・官でワーク・ライフ・バランス推進のためのネットワーク形成を図り、仕事と生活の調和がとれたまちを目指して取り組む。	<p>市内企業の人事労務担当者を対象にワーク・ライフ・バランスモデル企業の創出やネットワーク形成に向けて産学官による研究会を開催した。</p> <p>1 参加企業 7社 <7社> 2 活動実績 (1) ワーキング 5回 経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの理解、各社の課題整理から各社のアクションプランづくり (2) ワールドカフェ 学生を対象にワールドカフェ「社会人になる前に考えてみませんか…仕事と生活の両立」を実施 (3) 調査・研究 ①社員の意識調査及び定点観測の検討及び実施 ②ワーク・ライフ・バランス推進事業の検討及び実施 ③先進的ダイバーシティ経営企業の調査及び報告</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>7,990千円</td> <td>〈7,950千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	7,990千円	〈7,950千円〉	C	市) 男女共同参画課 ※25年度は、 こ) 総務企画課
25年度予算額	24年度予算額							
7,990千円	〈7,950千円〉							
企業のワーク・ライフ・バランス支援事業	ワーク・ライフ・バランスを推進するため、企業への意識啓発を図る。	<p>○出前型セミナー「ワーク・ライフ・バランスセミナー」 企業のワーク・ライフ・バランスの普及・促進に向けて、個々の企業のニーズに柔軟に対応できる出前形式のセミナーを実施。 内容 3つのコースから選択 ①初歩から学べる入門編(一般従業員向け) ②経営戦略につなげる基礎編(経営者・管理職向け) ③ワークショップ形式の実践編(人事・労務担当者向け) 対象 市内企業 講師 NPO法人ジェンダー研究所 受講企業数 32社<17社></p> <p>○講演会 テーマ 「次世代へ、より良い社会を残すために・・・」 講師 認定NPOフローレンス 代表理事 駒崎 弘樹 氏 日時 平成26年1月22日 場所 アミカス ホール 参加者数 105名</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>678千円</td> <td>〈768千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	678千円	〈768千円〉	B	市) 男女共同参画課
25年度予算額	24年度予算額							
678千円	〈768千円〉							
社会貢献優良企業優遇制度(次世代育成・男女共同参画支援事業分)		<p>社会貢献度の高い地場企業に対して優先指名等の優遇措置を行う社会貢献優良企業優遇制度の対象事業に「次世代育成・男女共同参画支援事業」を設けている。</p> <p>認定企業:73社<57社> 認定期間:H25.8.1~H28.7.31</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-	A	市) 男女共同参画課
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
具体的施策 29 育児・介護休業制度に関する広報と情報提供								
勤労者総合啓発事業	勤労者総合啓発誌「働くあなたのガイドブック」をできるだけ多くの窓口に配布し、労働関係の法令や助成制度、窓口の基礎知識の周知に努める。	<p>(具体的施策 19再掲) 労働関係法令などを掲載した勤労者総合啓発誌を作成し、市民をはじめ労働団体・企業主等に配布することにより勤労者の生活及び福祉の向上を図る。 啓発誌「働くあなたのガイドブック」改訂版の作成及び配布 ページ数:52ページ 配布先:国・県等の関係機関、情報プラザ、区役所、市内高校等 ※平成25年度改訂版 10,000部作成</p>	A	経) 就労支援課				

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
具体的施策 30 仕事と生活の調和のとれた生き方の普及								
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等		<p>○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。</p> <p>◆パパと子どものクッキング 全2回(全2回) 講師:横尾妙子(管理栄養士) 参加者数:延べ48人【男:34人,女14人】 〈延べ50人【男:35人,女15人】〉</p> <p>◆男性カレッジ 全4回(全4回) 講師:天野周一(全国亭主関白協会会長)ほか 参加者数:延べ247人〈延べ81人〉</p>	A	市) 事業推進課				
☆アミカス講座		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
広報紙の発行	広報紙に関しては、紙媒体から電子媒体へ移行していくことを考慮に入れ発行する。	<p>(具体的施策 8再掲) 男女共同参画推進センターの事業等を紹介するとともに、女性問題解決のための情報提供や啓発を行った。</p> <p>○広報紙「アミカスタイムズ」の発行 発行回数:年3回 発行部数:7,000部/回 配布先:全国の男女共同参画行政機関・施設、マスコミ、近郊大学・短大、市内の企業・病院、市情報プラザ、市民センター等</p> <p>○「アミカスイベントナビ」の発行 発行回数:年2回 発行部数:12,000部/回</p> <p>○情報紙「アミカかわら版」の発行 発行回数:毎月1回 発行部数:2,800部/回〈同左〉</p> <p>○アミカス図書室情報案内の発行 発行回数:毎月1回 発行部数:1,000部/回〈同左〉</p>	A	市) 事業推進課				
具体的施策 31 市役所における育児・介護休業中の男女への支援								
育児休業中の職員に対する研修	育児休業中の職員に対する研修を行うことにより、円滑な職場復帰とキャリア形成を支援する。	<p>「リラックス研修」(育児休業者の職場復帰前研修)を実施。</p> <p>○集合研修 (経験者による体験談、育休中の職員同士の意見交換等) 【1回目】約2時間半(約2時間半) 参加者:育休中の職員等 13名(11名) 【2回目】約2時間半(約2時間半) 参加者:育休中の職員等 22名(15名) 【3回目】約2時間半(約2時間半) 参加者:育休中の職員等 26名(22名)</p> <p>○OA操作練習(庶務管理等システム等の操作練習) 9回実施,参加者:計13名(6回実施,参加者計20名)</p> <p>○eラーニングによるキャリアデザイン研修 受講者:4名(4名)</p>	A	総) 人材育成課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>138千円</td> <td>〈76千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	138千円	〈76千円〉		
25年度予算額	24年度予算額							
138千円	〈76千円〉							
福岡市特定事業主行動計画に基づく仕事と家庭の両立支援策の推進	<p>①子どもが生まれた男性職員のうち、育児休業を取得した市職員の割合【H26】5%以上</p> <p>②子どもが生まれた男性職員のうち、出産・育児支援休暇を取得した市職員の割合【H26】90%以上</p> <p>③市職員の年次有給休暇の年間平均取得日数【H26】16日以上</p>	<p>・年次有給休暇等の取得促進に向けた啓発を行うとともに、年次有給休暇取得率が低い(5日以下)職場に対するヒアリングを実施。 2件(4件)</p> <p>・「時間外勤務の縮減に関する指針」(平成25年4月)に基づき縮減に向けた取り組みを実施。 本市職員一人あたりの時間外勤務時間数:161時間(H16年度)→132時間(H24年度)</p> <p>・行動計画における目標数値の実績(H24年度)</p> <p>①2.1%〈3.2%〉 ②95.2%〈96.1%〉 ③14.9日〈15.2日〉 ※〈 〉内は23年度実績</p>	B	総) 労務課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							

施策の方向 2 男性の家庭・地域への参画促進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
具体的施策 32 男性への意識啓発								
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">☆アマカス講座</div>		(具体的施策 30再掲) ○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。 ◆パパと子どものクッキング 全2回(全2回) 講師:横尾妙子(管理栄養士) 参加者数:延べ48人【男:34人,女14人】 〈延べ50人【男:35人,女15人】〉 ◆男性カレッジ 全4回(全4回) 講師:天野周一(全国亭主関白協会会長)ほか 参加者数:延べ247人〈延べ81人〉	A	市) 事業推進課				
活力あるまちづくり支援事業	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	(具体的施策 9再掲) 活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。 補助金交付団体数 148団体(148団体) (うち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付)	A	市) コミュニティ推進課				
公民館における男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの	公民館主催事業(男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの)実施館数の増加 18館	公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。そのうち主に男性を対象としたもの。 公民館数 11館〈12館〉 回数 30回〈42回〉 参加人数 663人〈831人〉	C	市) 公民館調整課				
		予 算 額(予算額は全主催事業の予算)						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">55,139千円</td> <td style="text-align: center;">〈55,667千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	55,139千円	〈55,667千円〉		
25年度予算額	24年度予算額							
55,139千円	〈55,667千円〉							

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	(具体的施策 5再掲) ①総会・定例会・専門部会の開催(委員:27人) 総会1回・定例会12回・専門部会(随時) ②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:310人(24年度:240人) 講演:「自分を育てる時間の使い方」 講師:村上 祥子 氏(料理研究家) ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:370人(24年度:379人) テーマ「超高齢社会の絆を考える」 (3回シリーズ 共催:東市民センター) ④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:77名(24年度:65人) 「男女共同参画ってなあに」(講義) 講師:アミカス副館長 安部 修 氏 ⑤日本女性会議2013あなん(4名参加)(24年度:4人) ⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会、演舞台に参加) ⑦筑紫少女苑 成人式に参列 ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	(具体的施策 5再掲) ①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 ②男女共同参画講演会(参加者63名) テーマ:男女共同参画社会をめざして 講 師:寺坂カタエ氏 対 象:校区男女共同参画委員、自治協議会長、 公民館長・主事、まち館館長 ③日本女性会議への参加(参加者数5名) 分科会・全体会へ参加 ④内閣府男女共同参画フォーラムin福岡市への参加 (各校区複数名) ⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第2ブロック」(参加者41名) 「第5ブロック」(参加者48名) ⑥視察研修(参加者数:37名) 福岡県男女共同参画表彰受賞者講演 視察先:田川郡川崎町 講 師:ラピュタファーム代表 杉本利雄氏 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り、各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(9名)	B	博) 地域振興課

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・定例会(月1回程度)での情報交換 ・定例会での校区活動報告 ・区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計3人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画委員研修の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:安部事業推進課長 / 参加者:80名)</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p> <p>※25年度は、地域振興・支援課</p>
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成25年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(6月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、9月、1月) 男女共同参画についての講演会を実施 校区が抱える問題や、お互いの考え方などについてグループワークを実施 校区活性化、取り組み方等についても意見を交換</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年6回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座 2回【参加者数:43名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②南区男女共同参画セミナー【参加者数:94名】 校区男女協及び自治協、校区住民等を対象に開催</p> <p>1)男女共同参画啓発ビデオ上映 「女性の人権シリーズ 夫の虐待を許さない！ —夫婦のモラル・ハラスメント— 家庭に潜む、女性への人権侵害を許さない」</p> <p>2)講演 「男と女のいい関係～DVってなあに？～」 講師:原 健一氏 (佐賀県DV総合対策センター所長)</p> <p>③南区男女共同参画事業・活動報告書の作成 (発行は26年度)【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(10回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>④その他 ・「日本女性会議2013あなん」への参加 ・「男女共同参画フォーラム」「アミカス記念祭」「あすばるフォーラム」への参加 ・各校区での広報紙の発行</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「男女共同参画を地域ですすめるには!？」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:79名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 東日本大震災を今一度、女性の視点で捉え、この福岡で暮らす私たちが今後その教訓をどう生かしていくか学んだ。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:137名】 I部 「日本女性会議2013あなん」参加報告 II部 講演「震災後の女性と子どもたち - 避難所生活・DV・そして今 -」 ・講師:八幡 悦子氏(NPO法人 ハーティ仙台・助産師)</p> <p>③「日本女性会議2013あなん」への派遣 3名</p>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>早良区男女共同参画協議会活動支援</p>	<p>校区活動の活性化へつなげる活動の支援。 男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①早良公民館 91名(68名) 「一人ひとりがいきいきと輝く地域社会に」 福永 宅司氏(子どもの学び館代表取締役) ②田隈公民館 62名(55名) 「輝き続けて90年 寺坂カタエの一代記」 寺坂 カタエ氏 ③原西公民館 65名(66名) 「独身男性育児情報誌編集長からパパになって～社長としてパパとして思うこと」 森 光太郎氏(リトル・ママ代表取締役社長) ④室見公民館 71名(76名) 「「婚学」で男女共同参画社会を作る」 佐藤 剛史氏(九州大学大学院農学研究院助教) 2. 日本女性会議2013あなんへの参加(委員5名参加) 3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置 4. 委員研修会 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①アミカス記念祭2013参加 4名(2名) 講演会「型にはまらない生き方」講師 養老 孟司氏 ②あすばる男女共同参画フォーラム2013 1名(7名) 基調講演「誰もが輝く社会へ～女性活躍に向けた課題と期待」等 ③研修会「男女共同参画ってなあに？」54名 安部 修氏(アミカス副館長) 5. 地域リーダー育成研修会「早良区男女共同参画フォーラム」 第1部:基調講演「男女共同参画5W1H」 講師 中嶋 玲子氏(前あすばる館長) 第2部:パネルディスカッション「地域でやってみようよ！共同参画」 6. 「早良区のつどい」開催 368名 第1部:早良区男女共同参画協議会事業報告 協議会委員による人権劇「今やらなきゃ!!!」 第2部:講演会「自分を生きるということ」 講師 吉永 みち子氏(ノンフィクション作家)</p>	<p>B</p>	<p>早) 地域支援課</p>
<p>西区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標:平成27年度までに25%とする。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。会議やフェスティバルの開催、広報紙発行を実施した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画表彰等を実施した。 1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2013 「ともにつくろう いきいきとしたまち」 230名(300名) 2. 日本女性会議 日本女性会議2013あなん参加 1名(4名) 3. 委員交流・意見交換会 ①6月委員交流会・意見交換会 40名(41名) 実行委員・年間テーマ決定 ②9月委員交流会・意見交換会 31名(32名) 「地域課題の解決に向けた実践」 石田 喜久美 委員(壱岐校区) ③1月委員交流会・意見交換会 26名(33名) 「地域の男女共同参画意識を高めるためには」 岩永 真一 氏(福岡テンジン大学学長) ※地域リーダー育成研修会として開催 ④3月委員交流会・意見交換会 29名(30名) 「私たち今“いきいき”してますか」 4. 全体会 ①40名(6月委員交流会終了後、同日開催) ②29名(3月委員交流会終了後、同日開催) 5. 広報紙「なぎさ」 45号・46号(各号6500部)発行(43・44号は6400部ずつ発行) 年2回、9月・3月に発行している。 6. 男女共同参画表彰 受賞者:1団体(受賞者:5名、3団体)</p>	<p>B</p>	<p>西) 振興課</p>

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
具体的施策 33 男性の家庭生活や地域活動への参画促進								
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">☆アミカス講座</div>		(具体的施策 30再掲) ○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。 ◆パパと子どものクッキング 全2回(全2回) 講師:横尾妙子(管理栄養士) 参加者数:延べ48人【男:34人,女14人】 〈延べ50人【男:35人,女15人】〉 ◆男性カレッジ 全4回(全4回) 講師:天野周一(全国亭主関白協会会長)ほか 参加者数:延べ247人〈延べ81人〉	A	市) 事業推進課				
ソーシャルビジネス(SB)振興事業		○啓発事業 ・SBフォーラム 参加1,162名<116名> ・SB入門セミナー 受講者164名<153名> ○支援事業 ・SB起業セミナー 受講者21名<21名> ・SB相談窓口利用件数65回<56回> ・現在のSB事業者数 125事業者<126事業者> 予 算 額 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">25年度予算額</td> <td style="width: 50%;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>5,033千円</td> <td><6,438千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	5,033千円	<6,438千円>	A	経) 就労支援課
25年度予算額	24年度予算額							
5,033千円	<6,438千円>							
市民や企業と共働した子育て支援	平成26年度末までに、賛同企業・団体数を1500にする。	(具体的施策 28再掲) 子どもの健やかな成長を考える“きっかけ”となるよう、企業・団体に対して、“「い〜な」ふくおか・子ども週間”賛同を呼びかけた。 ・平成26年3月末現在賛同数 928企業・団体 〈平成25年3月末賛同数 900企業・団体〉 ・働く人の認知度を向上するため、週間に合わせ、市営地下鉄駅構内で通勤時間帯に放送 ・“「い〜な」ふくおか・子ども週間”ホームページに賛同企業・団体名及び取り組みを掲載するとともに、呼びかけ強化 月間(8~10月)を設定し、市役所全庁に呼びかけ ・ノー残業デーの実施 ・子ども参観日の実施(8月2日) ・経済誌掲載	B	こ) 総務企画課				
活力あるまちづくり支援事業	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	(具体的施策 9再掲) 活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。 補助金交付団体数 148団体<148団体> (うち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付)	A	市) コミュニティ推進課				
公民館における男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの	公民館主催事業(男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの)実施館数の増加 18館	(具体的施策 32再掲) 公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。そのうち主に男性を対象としたもの。 公民館数 11館<12館> 回数 30回<42回> 参加人数 663人<831人>	C	市) 公民館調整課				

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	(具体的施策 5再掲) ①総会・定例会・専門部会の開催(委員:27人) 総会1回・定例会12回・専門部会(随時) ②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:310人(24年度:240人) 講演:「自分を育てる時間の使い方」 講師:村上 祥子 氏(料理研究家) ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:370人(24年度:379人) テーマ「超高齢社会の絆を考える」 (3回シリーズ 共催:東市民センター) ④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:77名(24年度:65人) 「男女共同参画ってなあに」(講義) 講師:アマカス副館長 安部 修 氏 ⑤日本女性会議2013あなん(4名参加)(24年度:4人) ⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会、演舞台に参加) ⑦筑紫少女苑 成人式に参列 ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	(具体的施策 5再掲) ①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 ②男女共同参画講演会(参加者63名) テーマ:男女共同参画社会をめざして 講 師:寺坂カタエ氏 対 象:校区男女共同参画委員、自治協議会長、 公民館長・主事、まち館館長 ③日本女性会議への参加(参加者数5名) 分科会・全体会へ参加 ④内閣府男女共同参画フォーラムin福岡市への参加 (各校区複数名) ⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第2ブロック」(参加者41名) 「第5ブロック」(参加者48名) ⑥視察研修(参加者数:37名) 福岡県男女共同参画表彰受賞者講演 視察先:田川郡川崎町 講 師:ラピユタファーム代表 杉本利雄氏 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り、各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(9名)	B	博) 地域振興課

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・定例会(月1回程度)での情報交換 ・定例会での校区活動報告 ・区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計3人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画委員研修の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:安部事業推進課長 / 参加者:80名)</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p> <p>※25年度は、地域振興・支援課</p>
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成25年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(6月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、9月、1月) 男女共同参画についての講演会を実施 校区が抱える問題や、お互いの考え方などについてグループワークを実施 校区活性化、取り組み方等についても意見を交換</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年6回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座 2回【参加者数:43名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②南区男女共同参画セミナー【参加者数:94名】 校区男女協及び自治協、校区住民等を対象に開催 1)男女共同参画啓発ビデオ上映 「女性の人権シリーズ 夫の虐待を許さない！ —夫婦のモラル・ハラスメント— 家庭に潜む、女性への人権侵害を許さない」 2)講演 「男と女のいい関係～DVってなあに？～」 講師:原 健一氏(佐賀県DV総合対策センター所長)</p> <p>③南区男女共同参画事業・活動報告書の作成 (発行は26年度)【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(10回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>④その他 ・「日本女性会議2013あなん」への参加 ・「男女共同参画フォーラム」「アミカス記念祭」「あすばるフォーラム」への参加 ・各校区での広報紙の発行</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「男女共同参画を地域ですすめるには!？」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:79名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 東日本大震災を今一度、女性の視点で捉え、この福岡で暮らす私たちが今後その教訓をどう生かしていくか学んだ。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:137名】 I部 「日本女性会議2013あなん」参加報告 II部 講演「震災後の女性と子どもたち - 避難所生活・DV・そして今 -」 ・講師: 八幡 悦子氏(NPO法人 ハーティ仙台・助産師)</p> <p>③「日本女性会議2013あなん」への派遣 3名</p>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>早良区男女共同参画協議会活動支援</p>	<p>校区活動の活性化へつながる活動の支援。 男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①早良公民館 91名(68名) 「一人ひとりがいきいきと輝く地域社会に」 福永 宅司氏(子どもの学び館代表取締役) ②田隈公民館 62名(55名) 「輝き続けて90年 寺坂カタエの一代記」 寺坂 カタエ氏 ③原西公民館 65名(66名) 「独身男性育児情報誌編集長からパパになって～社長としてパパとして思うこと」 森 光太郎氏(リトル・ママ代表取締役社長) ④室見公民館 71名(76名) 「婚学」で男女共同参画社会を作る 佐藤 剛史氏(九州大学大学院農学研究院助教) 2. 日本女性会議2013あなんへの参加(委員5名参加) 3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置 4. 委員研修会 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①アミカス記念祭2013参加 4名(2名) 講演会「型にはまらない生き方」講師 養老 孟司氏 ②あすばる男女共同参画フォーラム2013 1名(7名) 基調講演「誰もが輝く社会へ～女性活躍に向けた課題と期待」等 ③研修会「男女共同参画ってなあに？」54名 安部 修氏(アミカス副館長) 5. 地域リーダー育成研修会「早良区男女共同参画フォーラム」 第1部:基調講演「男女共同参画5W1H」 講師 中嶋 玲子氏(前あすばる館長) 第2部:パネルディスカッション「地域でやってみようよ！共同参画」 6. 「早良区のつどい」開催 368名 第1部:早良区男女共同参画協議会事業報告 協議会委員による人権劇「今やらなきゃ!!!」 第2部:講演会「自分を生きるということ」 講師 吉永 みち子氏(ノンフィクション作家)</p>	<p>B</p>	<p>早) 地域支援課</p>
<p>西区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標:平成27年度までに25%とする。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。会議やフェスティバルの開催、広報紙発行を実施した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画表彰等を実施した。 1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2013 「ともしつくり いきいきとしたまち」 230名(300名) 2. 日本女性会議 日本女性会議2013あなん参加 1名(4名) 3. 委員交流・意見交換会 ①6月委員交流会・意見交換会 40名(41名) 実行委員・年間テーマ決定 ②9月委員交流会・意見交換会 31名(32名) 「地域課題の解決に向けた実践」 石田 喜久美 委員(壱岐校区) ③1月委員交流会・意見交換会 26名(33名) 「地域の男女共同参画意識を高めるためには」 岩永 真一 氏(福岡テンジン大学学長) ※地域リーダー育成研修会として開催 ④3月委員交流会・意見交換会 29名(30名) 「私たち今“いきいき”してますか」 4. 全体会 ①40名(6月委員交流会終了後、同日開催) ②29名(3月委員交流会終了後、同日開催) 5. 広報紙「なぎさ」 45号・46号(各号6500部)発行(43・44号は6400部ずつ発行) 年2回、9月・3月に発行している。 6. 男女共同参画表彰 受賞者:1団体(受賞者:5名、3団体)</p>	<p>B</p>	<p>西) 振興課</p>

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 34 生活的自立のための学習機会の提供				
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">☆アミカス講座</div>		(具体的施策 30再掲) ○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。 ◆パパと子どものクッキング 全2回(全2回) 講師:横尾妙子(管理栄養士) 参加者数:延べ48人【男:34人,女14人】 〈延べ50人【男:35人,女15人】〉 ◆男性カレッジ 全4回(全4回) 講師:天野周一(全国亭主関白協会会長)ほか 参加者数:延べ247人〈延べ81人〉	A	市) 事業推進課
公民館における男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの	公民館主催事業(男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの)実施館数の増加 18館	(具体的施策 32再掲) 公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。そのうち主に男性を対象としたもの。 公民館数 11館〈12館〉 回数 30回〈42回〉 参加人数 663人〈831人〉	C	市) 公民館調整課

施策の方向 3 子育て・介護支援の充実

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 35 多様なニーズに対応した子育て支援の充実				
こどもショートステイ		保護者が病気などで家庭での養育が一時的に困難な子どもを、児童養護施設や乳児院で短期間預かるもの。 実施か所数 児童養護施設3, 乳児院2 実績 248人, 1,383日(229人, 1,265日) 予 算 額 25年度予算額 4,788千円 24年度予算額 3,651千円	A	こ) こども家庭課
病児・病後児デイケア事業		保育園等へ通っている子どもが病気のときで、保護者が仕事の都合などで看病できない場合に、病児デイケアルームで一時預かりを行うもの。 実施か所数 乳児院 1, 小児科医院15,合計16カ所 延利用数 22,789人(19,789人) 予 算 額 25年度予算額 235,501千円 24年度予算額 233,671千円	A	こ) こども発達支援課

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
特別保育事業 (延長保育)	延長保育172ヶ所 【平成26年度末】	保護者の就労形態の多様化や通勤時間の増加等によって、通常の午後6時までの開所時間を超過して保育を必要とする場合に、保育時間を延長するもの。 延長保育187ヶ所(1～4時間)〈181カ所〉	B	こ) 保育課
		予 算 額 (※予算額は全体予算) 25年度予算額 837,742千円 24年度予算額 〈864,089千円〉		
特別保育事業 (一時保育)	一時保育 継続実施	保護者の急病や仕事、リフレッシュなど、保育所に入所していない子どもについて一時的に保育が必要となる場合に、保育所で預かるもの。 一時保育28ヶ所〈26カ所〉	C	こ) 保育課
		予 算 額 (※予算額は全体予算) 25年度予算額 837,742千円 24年度予算額 〈864,089千円〉		
特別保育事業 (休日保育)	休日保育7ヶ所 【平成26年度末】	保護者が日曜・休日に就労している場合に、市内の保育所に入所している子どもを、実施保育所で預かるもの。 休日保育4ヶ所〈4ヶ所〉	C	こ) 保育課
		予 算 額 (※予算額は全体予算) 25年度予算額 837,742千円 24年度予算額 〈864,089千円〉		
特別保育事業 (夜間保育)	夜間保育2ヶ所 【平成26年度末】	保護者が夜間に就労している場合等に対応するため、保育所の開所時間を午後10時までとし、さらに深夜2時までの延長保育を行うもの。 夜間保育2ヶ所〈2ヶ所〉	A	こ) 保育課
		予 算 額 (※予算額は全体予算) 25年度予算額 837,742千円 24年度予算額 〈864,089千円〉		
特別保育事業 (特定保育)	特定保育7ヶ所 【平成26年度末】	短時間勤務や隔日の勤務などで、週2、3回程度または午前か午後のみなどの保育を必要とする場合に、必要な日時について保育する。 特定保育5ヶ所〈4ヶ所〉	C	こ) 保育課
		予 算 額 (※予算額は全体予算) 25年度予算額 837,742千円 24年度予算額 〈864,089千円〉		
特別保育事業 (障がい児保育)	全保育所で受入 【平成26年度末】	全保育所で受入可	A	こ) 保育課
		予 算 額 (※予算額は全体予算) 25年度予算額 837,742千円 24年度予算額 〈864,089千円〉		

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
一時預かり事業	実施施設数8か所 (新・福岡市子ども総合計画, 平成26年度末計画目標)	保護者等が冠婚葬祭や通院, リフレッシュ等のために必要なときに, その養育する児童を一時的に預かることで, 乳幼児の保護者の子育てに関する不安感・負担感を軽減し, 虐待防止と児童の健全育成を図る。 実施施設数 4か所(3か所) 予 算 額 25年度予算額 10,527千円 24年度予算額 <7,796千円>	A	こ) 子育て支援課
ファミリーサポートセンター事業	会員数7,200人 (新・福岡市子ども総合計画, 平成26年度末計画目標)	「子育てを応援して欲しい人」と「子育てを応援したい人」が地域の中で育児の相互援助活動を行う。 ・保育所・幼稚園・学童保育の迎え及び帰宅後の預かり ・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 ・子どもの習い事等の場合の援助 など ・会員登録数 依頼会員(子育てを応援して欲しい人) 5,644人 <4,886人> 提供会員(子育てを応援したい人) 885人 <862人> 両方会員(子育てを応援して欲しいし, 応援もしたい人) 881人 <878人> 合 計 7,410人 <6,626人> ・活動状況 17,457回<18,143回> 予 算 額 25年度予算額 23,766千円 24年度予算額 <24,372千円>	A	こ) 子育て支援課
保育所の整備	保育所入所定員の増加	様々な手法を用いて集中的な保育所整備を行ってきた結果, 平成26年度当初の待機児童解消を達成した。今後も, 増加する保育需要に対応するため, 様々な手法を用いて, 保育所整備を実施する。 平成23年度:1,160人分の定員増(家庭的保育事業80人分含む) (平成24年4月1日保育所入所定員 26,264人) 平成24年度:1,400人分の定員増(家庭的保育事業40人分含む) (平成25年4月1日保育所入所定員 27,664人) 平成25年度:2,354人分の定員増(家庭的保育事業55人分, 小規模保育事業246人分, 幼稚園の預かり保育事業233人分含む) 予 算 額 25年度予算額 4,819,004千円 24年度予算額 <2,088,137千円> ※予算額の備考 平成25年度12月補正, 2月補正後の予算額	A	こ) 保育課 こ) 子育て支援課
留守家庭子ども会事業	小学校内に設置した「留守家庭子ども会」等において, 学年拡大に係る対象校・学年を順次拡大し, 平成27年度当初までに, 全施設での全学年受入を実施する。	放課後帰宅しても保護者が労働等で不在である家庭の児童を対象に「留守家庭子ども会」を設置し, 児童の健全育成と子育て支援を行う。 設置校区 140か所(138校区)<141か所(138校区)> 平成20年9月から午後7時までの開設時間の延長を実施。 平成21年7月から4年生の長期休業中のみ受入を実施。 平成22年4月から67校区において4年生の通年受入を実施。 平成23年4月から24校区において4年生の通年受入を実施。 また, 22年度に4年生を受け入れた67校で5年生の通年受入を開始。 平成24年4月から24校区において4年生の通年受け入れを実施。また, 23年度に4年生を受け入れた24校で5年生の通年受入を開始, 5年生を受け入れた67校で全学年の通年受入を開始。 平成25年4月から4年生の通年受入を全校で実施。また, 24年度に4年生を受け入れた24校で5年生の通年受入を開始, 5年生を受け入れた67校で6年生の通年受入を開始。	A	こ) 放課後こども育成課
		予 算 額 25年度予算額 2,856,578千円 24年度予算額 <2,931,296千円>		

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 36 子育てしやすい環境づくり				
公民館における主催事業の実施(乳幼児ふれあい学級・子育てサポーター養成講座)	公民館主催事業(乳幼児ふれあい学級・子育てサポーター養成講座)実施館数の増加 160館	公民館主催事業のうち乳幼児ふれあい学級・子育てサポーター養成講座を重点事業として実施。 公民館数 127館<121館> 回数 1,247回<1,231回> 参加人数 48,702人<48,372人>	B	市) 公民館調整課
		予 算 額(予算額は全主催事業の予算) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">55,139千円</td> <td style="text-align: center;"><55,667千円></td> </tr> </table>		
25年度予算額	24年度予算額			
55,139千円	<55,667千円>			
地域子ども育成事業	140校区で育みネットを実施する。	地域の子どもを育む力の回復をめざして、地域の大人の意識変革、子どもを育む活動の活性化やネットワークの再生に取り組み、子どもたちを健やかに育む環境づくりを推進する。 ○育みネット支援事業 地域の子どもを育むネットワークづくり支援。 ・113校区実施済<109校区> ○研修講師派遣事業 子どもを見守り育もうという意識の向上を図る目的などで開催される研修会に講師を派遣する。 ・29回派遣<27回派遣>	B	こ) 青少年健全育成課
		予 算 額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">52,040千円</td> <td style="text-align: center;"><54,464千円></td> </tr> </table>		
25年度予算額	24年度予算額			
52,040千円	<54,464千円>			
区青少年育成推進事業	地域・学校・関係機関と一体となり、非行防止・啓発事業等、地域に根ざした各種青少年育成事業を推進する。	○青少年を見守る店 青少年の初発型非行を防止するため、「愛の声かけ」等の活動を通じて地域ぐるみによる非行防止体制の強化を図る。 ・579店舗<551店舗> ○中学校校区青少年育成連絡協議会への助成 中学校区の範囲で街頭パトロールなどの非行防止活動を実施する協議会の活動費を助成する。 ・助成額68校区×75千円=5,100千円 ○少年愛護/パトロール員 区長が委嘱するパトロール員が、それぞれの校区をパトロールする中で、地域社会の不良環境や健全育成上の障害要因等を早期に発見してもらう。 ・996名委嘱<1,063名> ○立入調査 青少年にとって有害な環境を浄化するために、コンビニや書店への立ち入り調査を行い、指導を行う。 ・立入件数1,317件<1,367件>	B	こ) 青少年健全育成課
		予 算 額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">48,793千円</td> <td style="text-align: center;"><50,104千円></td> </tr> </table>		
25年度予算額	24年度予算額			
48,793千円	<50,104千円>			
旅館・カラオケボックス規制指導	善良な風俗及び生活環境を保持し、青少年の健全な育成を図る。	○旅館等・カラオケボックス設置規制指導 旅館等やカラオケボックスを設置しようとする業者等に対して助言・指導を行う。 ・相談、協議回数30回<22回>	B	こ) 青少年健全育成課
		予 算 額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4,352千円</td> <td style="text-align: center;">4,353千円</td> </tr> </table>		
25年度予算額	24年度予算額			
4,352千円	4,353千円			
地域子育て交流支援事業	延べ参加者数138,000人 (新・福岡市子ども総合計画、平成26年度末計画目標)	地域全体で乳幼児の子育てを支援する体制づくりを行い、地域の見守りのもと、公民館等を活用して、乳幼児親子が気軽に集える「子育て交流サロン」の開設や運営を支援する。 新設数 延べ158か所<延べ155か所> 参加者数 23年度 96,065人 24年度 88,520人 25年度 95,554人	B	こ) 子育て支援課
		予 算 額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7,611千円</td> <td style="text-align: center;"><8,459千円></td> </tr> </table>		
25年度予算額	24年度予算額			
7,611千円	<8,459千円>			

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
子どもプラザ	設置数14か所 (新・福岡市子ども総合計画, 平成26年度末計画目標)	乳幼児親子がいつでも気軽に利用でき, 子育てに関する相談や情報交換ができる子育て支援の拠点として, 子どもプラザを開設し, 地域で孤立しがちな親の子育て不安の軽減を図る。 設置数 14か所(14か所) 予 算 額 25年度予算額 161,148千円 24年度予算額 <163,092千円>	A	こ) 子育て支援課
ファミリーサポートセンター事業	会員数7,200人 (新・福岡市子ども総合計画, 平成26年度末計画目標)	(具体的施策 35再掲) 「子育てを応援して欲しい人」と「子育てを応援したい人」が地域の中で育児の相互援助活動を行う。 ・保育所・幼稚園・学童保育の迎え及び帰宅後の預かり ・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 ・子どもの習い事等の場合の援助 など ・会員登録数 依頼会員(子育てを応援して欲しい人) 5,644人 <4,886人> 提供会員(子育てを応援したい人) 885人 <862人> 両方会員(子育てを応援して欲しいし, 応援もしたい人) 881人 <878人> 合 計 7,410人 <6,626人> ・活動状況 17,457回<18,143回>	A	こ) 子育て支援課
子育て支援に関する主催事業	子どもの育ちにとって、時間・空間・仲間が重要であり、それに関わる親・サポーター等が共に体得できる内容のものを実施していく。	○子育てふれあい広場「のびのび夢ひろばじょうなん」 子育てに関する活動をしている市民グループと福岡大学や中村学園大学等のボランティアスタッフと共働で実施した。 (実施日)平成25年9月8日(日) (参加者数)428人<H24は342名> ○子育て講座「乳幼児と大人のための外遊び講座」 子育て中の保護者はじめ大人たちが、日頃の子育てを見つめなおす機会として乳幼児と大人が共に外遊びの実体験をする講座を実施した。 (実施日)H25.6月～H25.11月 全5回開催 (参加者延べ数)145組<H24は6回開催136組> 予 算 額 25年度予算額 424千円 24年度予算額 <238千円>	B	城) 生涯学習推進課

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
児童虐待防止事業	一時保護児、乳児院、児童養護施設入所児の1年以内での再統合ケース：80.0%	<p>児童虐待の未然防止、早期発見・対応、子どもや親のケア、再発防止などを行うもの。</p> <p>1 早期対応・相談体制の強化 児童福祉司等の専門性強化、法的対応機能強化事業の実施</p> <p>2 子どもや親への支援体制の強化 親の養育支援事業の実施</p> <p>3 関係機関とのネットワークの強化 区子育て支援課との連携強化</p> <p>※一時保護児、乳児院、児童養護施設入所児の1年以内での再統合ケースの実績 H25年度 62.7% ※当初値 62.2%(H14年度)</p>	B	こ) こども緊急支援課				
		<p>予 算 額 (※予算額のうち特定財源 3,062千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>13,995千円</td> <td>〈14,551千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	13,995千円	〈14,551千円〉		
25年度予算額	24年度予算額							
13,995千円	〈14,551千円〉							
区保健福祉センター家庭児童相談室における相談	身近な相談窓口としての機能を充実し迅速かつ的確な対応を目指す。	<p>(具体的施策 15再掲)</p> <p>婦人保護相談 延べ件数 5,449件〈5,301件〉</p> <p>母子自立相談 延べ件数 8,409件〈8,179件〉</p> <p>家庭児童相談 延べ件数 14,702件〈10,916件〉</p> <p>うち、DV相談 延べ件数 2,894件〈3,016件〉</p> <p>(※婦人保護相談に含む)</p>	B	こ) こども家庭課				
街頭指導		<p>中学・高等学校教諭や民生委員・児童委員等に「子ども生活指導員」を委嘱し、市内の繁華街等(天神、JR博多駅など市内14か所)のゲームセンター、カラオケボックス、スーパー、デパート、商店街等の盛り場、公園など青少年のたまり場を重点として、街頭指導活動を実施した。</p> <p>街頭指導:実施回数 212回〈223回〉</p> <p>従事人員 789人〈879人〉</p> <p>指導人員 1,468人(534人)〈1,564人(483人)〉</p> <p>※()内は女子で内数。</p>	B	こ) こども相談課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>2,433千円</td> <td>〈2,433千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	2,433千円	〈2,433千円〉		
25年度予算額	24年度予算額							
2,433千円	〈2,433千円〉							
アミカスにおける託児の実施	安全で快適な託児を実施する。	<p>アミカスで行う講座・講演会において託児グループによる託児を実施した(18年度からアミカス主催講座については無料とした。)</p> <p>託児付き講座・講演会: 35講座〈31講座〉</p> <p>託児参加者数: 787人〈690人〉</p> <p>託児スタッフ延べ人数: 615人〈521人〉</p> <p>託児スタッフ登録人数: 39人〈28人〉</p>	A	市) 事業推進課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>1,854千円</td> <td>〈1,854千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	1,854千円	〈1,854千円〉		
25年度予算額	24年度予算額							
1,854千円	〈1,854千円〉							
アミカスBOOKタイム	乳幼児を育てる保護者のリフレッシュを図る。	<p>託児付きで読書やビデオ鑑賞の機会を提供。</p> <p>5月～12月 全8回 参加者 93人</p> <p>〈5月～12月 全8回 参加者110人〉</p>	B	市) 事業推進課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
市民や企業と共働した子育て支援	平成26年度末までに、賛同企業・団体数を1500にする。	<p>(具体的施策 28再掲)</p> <p>子どもの健やかな成長を考える“きっかけ”となるよう、企業・団体に対して、“「い～な」ふくおか・子ども週間”賛同を呼びかけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年3月末現在賛同数 928企業・団体 〈平成25年3月末賛同数 900企業・団体〉 ・働く人の認知度を向上するため、週間に合わせ、市営地下鉄駅構内で通勤時間帯に放送 ・“「い～な」ふくおか・子ども週間”ホームページに賛同企業・団体名及び取り組みを掲載するとともに、呼びかけ強化月間(8～10月)を設定し、市役所全庁に呼びかけ ・ノ一残業デーの実施 ・子ども参観日の実施(8月2日) ・経済誌掲載 	B	こ) 総務企画課				

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
留守家庭子ども会事業	小学校内に設置した「留守家庭子ども会」等において、学年拡大に係る対象校・学年を順次拡大し、平成27年度当初までに、全施設での全学年受入を実施する。	(具体的施策 35再掲) 放課後帰宅しても保護者が労働等で不在である家庭の児童を対象に「留守家庭子ども会」を設置し、児童の健全育成と子育て支援を行う。 設置校区 140か所(138校区)〈141か所(138校区)〉 平成20年9月から午後7時までの開設時間の延長を実施。 平成21年7月から4年生の長期休業中のみ受入を実施。 平成22年4月から67校区において4年生の通年受入を実施。 平成23年4月から24校区において4年生の通年受入を実施。 また、22年度に4年生を受け入れた67校で5年生の通年受入を開始。 平成24年4月から24校区において4年生の通年受け入れを実施。また、23年度に4年生を受け入れた24校で5年生の通年受入を開始、5年生を受け入れた67校で全学年の通年受入を開始。 平成25年4月から4年生の通年受入を全校で実施。また、24年度に4年生を受け入れた24校で5年生の通年受入を開始、5年生を受け入れた67校で6年生の通年受入を開始。	A	こ) こども育成課
こども総合相談センター総合相談事業		電話相談受理件数(全体) … 10,389 件(10,896件) 面接相談受理件数(全体) … 3,837 件(3,812件) 予 算 額 25年度予算額 24年度予算額 461,785千円 〈480,022千円〉	B	こ) こども支援課
バリアフリーのまちづくり推進		1. 福岡市バリアフリー基本計画の策定 ・市民、事業者等で構成する協議会実施:1回<3回> 2. バリアフリー化推進の普及・啓発、育成 ① 出前講座 ・実施回数:2回、参加人数:70名 〈実施回数:3回、参加人数:65名> ② 市職員向け研修(参加人数) ・技術者研修:32名、体験研修:10名 〈技術者研修:51名、体験研修:10名> 予 算 額 25年度予算額 24年度予算額 6,477千円 〈5,365千円〉	A	保) 政策推進課
都心部風俗関係違反広告物除却作業	当該地区における風俗関係違反広告物の根絶	都心部の博多駅地区、中洲地区、天神地区で、青少年の健全育成を阻害するピンクちらしを含む違反広告物を業者委託により除却した。 違反(除却)枚数:42,996枚(52,049枚) 予 算 額 25年度予算額 24年度予算額 4,200千円 〈4,200千円〉	B	住都) 都市景観室
鉄道駅施設バリアフリー化促進事業	高齢者や障がいがある人をはじめ全ての公共交通利用者が安全且つ円滑に移動できるよう公共交通施設のバリアフリー化を推進する。	西鉄三苦駅のバリアフリー化整備について、はH24からの繰越事業であったが、H25にエレベーター1基を設置を完了した。 JR下山門駅のバリアフリー化整備に着手したが、関係者との協議に期間を要したため、H26へ繰越した。 平成24年度実績:無し 平成25年度実績:三苦駅エレベーター1基設置 予 算 額 25年度予算額 24年度予算額 33,333千円 -	B	住都) 公共交通推進課 ※25年度は、交通施策推進課

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 37 介護支援の充実				
介護保険事業	第5期介護保険事業計画の円滑な実施	要介護認定者数 56,231人(年度平均)< 52,771人> 介護サービス利用者数 43,848人(年度平均)< 41,438人>	A	保) 介護福祉課 ※25年度は、 介護保険課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 80,899,683千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 <76,512,854千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 80,899,683千円	24年度予算額 <76,512,854千円>			
地域支援事業及び在宅高齢者福祉事業	高齢者が住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らし続けられるよう、地域における身近な総合相談機能の充実に努めるとともに、介護予防を推進し、自宅での自立支援や介護者の負担軽減を図る。	○地域支援事業 地域で生活する高齢者、その家族を支援するため、介護予防事業(高齢者が要介護状態になることを防ぐ)、包括的支援事業(地域包括支援センターが実施)、任意事業(高齢者が地域で自立した日常生活を送れるように支援)を実施する。 地域支援事業31事業(介護予防事業(9事業)、包括的支援事業(3事業)、任意事業(19事業))及び在宅福祉サービスの13事業を実施 <地域支援事業32事業(介護予防事業(11事業)、包括的支援事業(2事業)、任意事業(19事業))及び在宅福祉サービスの13事業を実施>	A	保) 介護福祉課 ※25年度は、 介護保険課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 917,606千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 <856,373千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 917,606千円	24年度予算額 <856,373千円>			
地域包括支援センター事業	地域における高齢者の身近な相談体制充実を図る	○相談実績 実相談人数 27,941人< 28,207人> 延相談人数 121,966人<121,020人>	A	保) 地域包括ケア推進課 ※25年度は、 地域保健課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 1,011,414千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 <996,920千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 1,011,414千円	24年度予算額 <996,920千円>			
介護老人保健施設等建設費助成	第5期福岡市高齢者保健福祉計画(平成24年度から平成26年度) 介護老人保健施設平成26年度整備計画数 2,610人分	要介護高齢者の増加に対応するため、医療法人等が行う介護老人保健施設の整備に対して助成を行う。 25年度末現在 累計 27施設・定員2,627人<27施設・定員2,609人>	A	保) 高齢者サービス支援課 ※25年度は、 介護サービス課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>		
予 算 額				
-	-			
ふれあいネットワークふれあいサロン	ふれあいネットワークは実施自治会数を、ふれあいサロンは実施箇所数を増やし、住民による地域保健福祉活動の充実を図る。	高齢者等を地域で支えるしくみづくりの推進をとおして、男女が共に仕事と家庭を両立できる環境づくりを図った。 ・ふれあいネットワーク 129校区<127校区> 1,673自治会数<1,648自治会数> ・ふれあいサロン 139校区<139校区> 327箇所<316箇所> ※平成25年度実績は12月末現在の数値	A	保) 高齢社会政策課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 38,807千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 <36,919千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 38,807千円	24年度予算額 <36,919千円>			
特別養護老人ホーム等建設費助成	第5期福岡市高齢者保健福祉計画(平成24年度から平成26年度) 特別養護老人ホーム平成26年度整備計画数 5,100人分	要介護高齢者の増加に対応するため、社会福祉法人が行う特別養護老人ホーム等の整備に対して助成を行う。 25年度開設 5施設・定員401人<8施設・定員402人> 累計 66施設・定員4,797人<61施設・定員4,396人> (計画済 5,126人分)	A	保) 高齢者サービス支援課 ※25年度は、 介護サービス課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 1,288,726千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 <1,359,258千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 1,288,726千円	24年度予算額 <1,359,258千円>			

施策の方向 4 ひとり親家庭への支援の充実

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
具体的施策 38 相談の充実					
区保健福祉センター 家庭児童相談室に おける相談	身近な相談窓口としての機能を充実し迅速かつ的確な対応を目指す。	(具体的施策 15再掲) 婦人保護相談 延べ件数 5,449件< 5,301件> 母子自立相談 延べ件数 8,409件< 8,179件> 家庭児童相談 延べ件数 14,702件<10,916件> うち、DV相談 延べ件数 2,894件< 3,016件> (※婦人保護相談に含む)	B	こ) こども家庭課	
区家庭児童相談室 相談員研修	身近な相談窓口としての機能を充実し迅速かつ的確な対応を目指す。	本庁での業務研修や福岡県社会福祉協議会による社会福祉施設職員研修などの派遣研修を行っている。このうちDVについては、福岡県女性相談所でのスーパービジョン研修等に派遣している。	A	こ) こども家庭課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		
民生委員・児童委員、主任児童委員研修	社会奉仕の精神をもって相談、援助に当たり社会福祉の増進に努める民生委員・児童委員、主任児童委員の資質の向上を図る研修を毎年実施する。	○中堅研修(1回実施、参加者140人) ○幹部研修(1回実施、参加者186人)<1回実施、参加者188人> ○主任児童委員研修(台風により中止)<1回実施、参加者193人> ○専門部会研修(以下は市レベルの研修である。各区レベルでも全民生委員・児童委員を対象に別途、研修を実施している。) (10回実施、参加者のべ209人)<10回実施、参加者のべ202人>	B	保) 高齢社会政策課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		283,303千円	<268,508千円>		
アマカス相談室	日常生活の中で直面する様々な問題について相談員などが相談を受け、問題解決に向けて援助する。	(具体的施策 15再掲) (1)相談業務 ①総合相談(相談・面接) ②アマカスDV相談ダイヤル ③法律相談 ④男性のための相談ホットライン (2)講座などによる啓発活動 ①法律講座 年4回<6回> 参加者 延べ76名<199名> ②グループワーク 年2講座12回 参加者 延べ60人<59人> ③DV講座 2回<2回> 参加者15名<14名> ④自主グループ支援 6回<13回>24人<55人> (3)相談員の会議・研修 ①DV相談窓口の相談員連絡会議 1回<1回> ②事例検討・研修会 年5回<5回> <事業実績> ○相談件数 4,210件<4,764件> 再掲:DV相談 796件<1,097件>	B	市) 事業推進課	
母子福祉センター事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	母子家庭等の福祉を増進するため、各種相談に応じるとともに、本市における母子家庭の自立・就業支援の中心施設として、他の相談機関等と連携しながら就業情報の提供や就業支援講習会等の事業を実施している。 利用者数11,337人<12,338人>	A	こ) こども家庭課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		54,813千円	<55,154千円>		

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 39 ひとり親家庭の自立促進と生活の安定				
母子家庭等日常生活支援事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	母子家庭、父子家庭及び寡婦の修学等の自立促進に必要な事由や疾病等の社会的な事由により、一時的に介護、保育等のサービスが必要なとき、家庭生活支援員を派遣して、必要な介護及び児童の保育を行うもの。 385時間<425時間> 予 算 額 25年度予算額 457千円 24年度予算額 <415千円>	A	こ) こども家庭課
母子福祉センター事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	(具体的施策 38再掲) 母子家庭等の福祉を増進するため、各種相談に応じるとともに、本市における母子家庭の自立・就業支援の中心施設として、他の相談機関等と連携しながら就業情報の提供や就業支援講習会等の事業を実施している。 利用者数11,337人<12,338人>	A	こ) こども家庭課
ひとり親家庭就業支援事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	○ひとり親無料職業紹介事業 平成20年12月から母子福祉センターにて無料職業紹介事業を実施 就職者数4名<8名> ○自立支援プログラム策定事業 児童扶養手当受給者の自立を促進するため、個々の状況に応じた自立支援計画書(プログラム)を策定し、個別・継続的な自立・就労支援を行う。 就職者数37件<15件> 予 算 額 25年度予算額 3,673千円 24年度予算額 <3,246千円>	A	こ) こども家庭課
母子家庭自立支援給付金事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	○自立支援教育訓練給付金事業 母子家庭の母が能力開発のために資格等を取得する際、その受講料の2割(最高10万円)を支給。 ・支給件数 5件<1件> ○高等技能訓練促進費事業 母子家庭の母が看護師等の就職に結びつきやすい高度な資格を取得する際、月額100,000円(課税世帯は月額70,500円)の促進費を支給。 ・支給件数 108件<120件> また、修業後50,000円(課税世帯は25,000円)の修了一時金を支給。 ・支給件数 41件<42件> 予 算 額 25年度予算額 147,536千円 24年度予算額 <207,316千円>	A	こ) こども家庭課
市営住宅へのひとり親家庭優遇措置	市営住宅入居時の抽選倍率が、全体平均倍率よりもひとり親世帯の倍率を低い状態で維持する。	一般世帯と同じ住宅に申し込みを行うひとり親世帯に対し、抽選番号を一般世帯よりも多く割り振ることにより当選の確率を高くして配慮している。 申し込み回数が4回目(落選回数3回)までの人には1個、5回目以上(落選回数4回以上)の人には2個の抽選番号がプラスされる。 ○ ひとり親世帯の抽選倍率 14.68倍(全体平均 14.86倍)<13.66倍(全体平均 14.41倍)> 予 算 額 25年度予算額 - 24年度予算額 -	A	住都) 住宅管理課

基本目標 4 政策・方針決定過程に男女が共に参画できる社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	8	5	2	0

施策の方向 1 市の政策・方針決定過程への女性の参画促進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課																																																																					
具体的施策 40 審議会等への女性の参画促進																																																																									
審議会等委員女性参画のための事前協議	審議会等委員への女性の参画率を、平成27年度までに 35% 女性委員のいない審議会等の解消	○審議会等への女性の参画を促進するため、おおむね委嘱の3ヶ月前までに委員の選任に際し、審議会等の所管課と男女共同参画課で事前協議を実施 ○女性の人材に関する情報提供 参画率:28.9%(30.1%) 女性委員のいない審議会等の数:全99のうち8(95のうち10)	C	市) 男女共同参画課																																																																					
		予 算 額 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>			25年度予算額	24年度予算額	-	-																																																																	
25年度予算額	24年度予算額																																																																								
-	-																																																																								
人材情報の提供	人材登録者数を300件以上にする。	(具体的施策 8再掲) 女性問題の視点から人材情報を収集し提供した。 人材情報の登録及びインターネット等による情報を提供。 登録数:286件(286件) 提供件数:22件(21件)、その他13件(9件) WEB検索については、教育委員会生涯学習課のホームページ「まなびアイふくおか」の人材バンクで検索可能。	B	市) 事業推進課																																																																					
具体的施策 41 市役所における男女共同参画の推進																																																																									
福岡市職員の人材育成・活性化プランに基づく男女共同参画の推進		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">H25</th> <th colspan="3">H24</th> </tr> <tr> <th>総数</th> <th>女性数</th> <th>女性の比率</th> <th>総数</th> <th>女性数</th> <th>女性の比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役職者総数</td> <td>2,835</td> <td>396</td> <td>14.0</td> <td>2,848</td> <td>361</td> <td>12.7</td> </tr> <tr> <td> 局部長級</td> <td>199</td> <td>17</td> <td>8.5</td> <td>202</td> <td>17</td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td> 課長級</td> <td>567</td> <td>48</td> <td>8.5</td> <td>572</td> <td>42</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td> 係長級</td> <td>2,069</td> <td>331</td> <td>16.0</td> <td>2,074</td> <td>302</td> <td>14.6</td> </tr> <tr> <td> 一般職員</td> <td>6,798</td> <td>2,364</td> <td>34.8</td> <td>6,785</td> <td>2,333</td> <td>34.4</td> </tr> <tr> <td> 30代職員</td> <td>1,058</td> <td>526</td> <td>49.7</td> <td>1,075</td> <td>533</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td> 総括主任級(30代)</td> <td>370</td> <td>155</td> <td>41.9</td> <td>365</td> <td>140</td> <td>38.4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,633</td> <td>2,760</td> <td>28.7</td> <td>9,633</td> <td>2,694</td> <td>28.0</td> </tr> </tbody> </table>		H25			H24			総数	女性数	女性の比率	総数	女性数	女性の比率	役職者総数	2,835	396	14.0	2,848	361	12.7	局部長級	199	17	8.5	202	17	8.4	課長級	567	48	8.5	572	42	7.3	係長級	2,069	331	16.0	2,074	302	14.6	一般職員	6,798	2,364	34.8	6,785	2,333	34.4	30代職員	1,058	526	49.7	1,075	533	49.6	総括主任級(30代)	370	155	41.9	365	140	38.4	合計	9,633	2,760	28.7	9,633	2,694	28.0	C	総) 人材育成課
				H25			H24																																																																		
総数	女性数		女性の比率	総数	女性数	女性の比率																																																																			
役職者総数	2,835	396	14.0	2,848	361	12.7																																																																			
局部長級	199	17	8.5	202	17	8.4																																																																			
課長級	567	48	8.5	572	42	7.3																																																																			
係長級	2,069	331	16.0	2,074	302	14.6																																																																			
一般職員	6,798	2,364	34.8	6,785	2,333	34.4																																																																			
30代職員	1,058	526	49.7	1,075	533	49.6																																																																			
総括主任級(30代)	370	155	41.9	365	140	38.4																																																																			
合計	9,633	2,760	28.7	9,633	2,694	28.0																																																																			
予 算 額 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-																																																																					
25年度予算額	24年度予算額																																																																								
-	-																																																																								

基本目標4 政策・方針決定過程に男女が共に参画できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
女性リーダー派遣研修・自治大学校派遣研修	市町村アカデミーや自治大学校などへ女性職員を派遣し、高度な行政知識や行政管理能力を習得することにより、本市の行政施策推進の中核となりうる人材を育成する。	<p>○ブラッシュアップ女性リーダー 実施機関：市町村アカデミー 参加者：0名<3名></p> <p>○女性リーダーのためのマネジメント研修 実施機関：国際文化アカデミー 参加者：4名<6名></p> <p>○シニアマネジャー研修 実施機関：国際文化アカデミー 参加者：1名<0名></p> <p>○事例とケースメソッドで学ぶ組織運営 実施機関：国際文化アカデミー 参加者：1名<0名></p> <p>○自治大学校(第1部特別課程)派遣研修 実施機関：自治大学校 参加者：2名<1名></p>	A	総) 人材育成課
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>364千円</td> <td><362千円></td> </tr> </table>		
25年度予算額	24年度予算額			
364千円	<362千円>			
女性職員育成に関する研修	階層別研修において、女性職員の育成と能力活用に関する科目・内容を実施し、女性職員が能力を十分に発揮できる職場環境づくりを担う職員を育成する。	<p>○課長研修(1時間50分) 科目名：「課長の役割と危機管理」 対象者：課長級昇任者等 内 容：所管課による講義 受講者数 87名(91名)</p> <p>○管理職マネジメント研修 テーマ：「ダイバーシティ組織の運営と活性化」 ～女性の力を最大化するマネジメント～ 対象者：全課長級職員 内 容：外部講師による講演 受講者数 448名(25年度のみ実施)</p>	A	総) 人材育成課
		<table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		
25年度予算額	24年度予算額			
-	-			
福岡市特定事業主行動計画に基づく仕事と家庭の両立支援策の推進	仕事と家庭の両立支援のための意識啓発	<p>市職員への啓発(研修)の実施。 ○両立支援に関する情報提供として「パパ・ママサポート通信」を発信 12回</p> <p>○人材育成課実施分 ・課長研修(昇任時) 87名< 91名> ・係長研修 242名(236名) ・新規採用職員研修 267名<230名></p> <p>○男女共同参画課実施分 ・男女共同参画推進担当者研修 8名<10名></p>	B	総) 労務課
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		
25年度予算額	24年度予算額			
-	-			

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
職員研修センターにおける男女共同参画研修	階層別研修において、男女共同参画の推進に関する科目・内容を実施し、市職員として男女共同参画社会の実現にむけて役割を担うことのできる職員を育成する。	<p>○階層別男女共同参画研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者:課長級昇任者等 87名<91名> 科目名:「課長の役割と危機管理」 内容:所管課による講義 <p>○階層別人権行政研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者:課長昇任2年目 76名<71名> 係長昇任2年目 219名<132名> 総括主任昇任者 199名<225名> 主任昇任者 184名<176名> 採用2年目職員 330名<284名> 新規採用職員 331名<310名>※H25.10月採用含む 内容:グループ討議や参加型学習の事例の1つとして女性に関する問題を取り上げた。 <p>○人権行政係長研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者:係長級昇任者等 219名<132名> 科目名:「男女共同参画は出来ている?」 内容:所管課による講義 	A	総) 人材育成課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
男女共同参画推進協議会, 同幹事会	庁内の推進組織である協議会・幹事会において、本市の審議会等委員への女性の参画促進や、女性職員の登用促進についての全庁横断的な取組の実施について強く働きかける。	<p>○男女共同参画推進協議会1回実施<1回></p> <p>議題:福岡市男女共同参画基本計画(第2次)の実施状況及び評価について</p> <p>○同幹事会2回実施<1回></p> <p>(第1回)</p> <p>議題:福岡市男女共同参画を推進する条例第26条に基づく苦情の申出及び審議会答申について 等</p> <p>(第2回)</p> <p>議題:福岡市男女共同参画基本計画(第2次)の実施状況及び評価について</p>	A	市) 男女共同参画課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
人権啓発推進者研修		<p>班員:課長級職員9名<9名>/班別研修:7回<7回></p> <p>※班員の自主運営のため、開催回数に定めはない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回:講演「男女共同参画社会の現状と課題」(男女共同参画部長) ・第2回:講演「男女共同参画とワーク・ライフ・バランス:これまでとこれから」(九州大学経済学研究院産業・企業システム部門 准教授 遠藤 雄二) ・第3回:班員による討議 ・第4回:班員による討議 ・第5回:意見交換会「ワーク・ライフ・バランスに関する職員意見交換会」 ・第6回:班員による討議 ・第7回:班員による討議 	A	市) 人権推進課				
		<p>予 算 額(※本研修全体の予算)</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>425千円</td> <td><508千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	425千円	<508千円>		
25年度予算額	24年度予算額							
425千円	<508千円>							

基本目標4 政策・方針決定過程に男女が共に参画できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
女性教職員の管理職登用の促進	幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の管理職(園長・校長・副校長・副園長・教頭)に占める女性管理職の割合を、現状より高めることをめざす。	【事業実績】(平成26年度当初における任用実績) ○校長(女性校長・園長数/全校長・園長数) 26年40名/226名・・・17.7%(25年34名/229名・・・14.8%) ○教頭(女性副校長・教頭・副園長数/全教頭数) 26年44名/261名・・・16.9%(25年48名/261名・・・18.4%) ○全管理職(女性管理職/全管理職) 26年84名/487名・・・17.2%(25年82名/490名・・・16.7%) ※ 幼稚園7園のうち、小学校長が園長を兼務している園は3園、校長の小中兼務校は4校である。 ※ 教頭複数配置校(副校長を含む)は、平成25年度が小学校16校、中学校6校、高等学校4校である。平成26年度が小学校18校、中学校7校、高等学校4校である。 また、学校規模により教頭を配置しない小学校は、平成25年度が3校、平成26年度も3校である。 ※ 特別支援学校の教頭複数配置校は、平成25年度、平成26年度ともに7校である。	B	教委) 教職員課
		予 算 額 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		
25年度予算額	24年度予算額			
-	-			
男女共同参画推進担当者研修	男女共同参画についての理解を深める。	男女共同参画推進担当者研修 講師:NPO法人福岡ジェンダー研究所 研究員 武藤 桐子氏 対象: 各区区政推進(地域支援)部職員 (企画振興課、地域振興課、地域支援課) 市民局男女共同参画部職員(事業推進課) 参加者数:8名<10名>	B	市) 男女共同参画課
		予 算 額 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>16千円</td> <td>-</td> </tr> </table>		
25年度予算額	24年度予算額			
16千円	-			
ユニバーサル都市・福岡の推進	年齢、性別、能力、背景などに関わらず、すべての人にとって住みやすく、来てみたくなる、みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」の実現に向け、ユニバーサルデザインの考え方に対する市民の理解促進を図る。	(具体的施策 8再掲) ・ユニバーサル都市・福岡賞の創設・表彰式の実施(平成25年10月27日) ・ユニバーサル都市・福岡フェスティバルの実施(平成25年9月28日～平成25年10月27日) ・キャンペーン・広報活動の実施等(5回) ・ホームページ・ソーシャルメディアの活用、出前講座の実施等(3回) ・子ども気づきデザインの企画・実施(3回) ・ユニバーサル都市・福岡デザインチャレンジの実施(4回) ・NPO等による取組みへの支援(事業費の4/5, 上限40万) ・NPO、大学等との連携による推進(1回) ・児童向け教材の作成、活用(市内の新4年生全員に配布) ・全庁におけるユニバーサル都市・福岡推進本部会議の開催(1回)、関係課長で構成する幹事会の開催(1回) ・eラーニングの活用、新規採用職員への講師派遣等(2回)	B	総) 企画調整部

施策の方向 2 あらゆる分野の意思決定過程への女性の参画促進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 42 企業における女性の参画促進				
企業向け講演会 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">☆アミカス講座</div>		働く女性の人権セミナー 「セクハラ・パワハラセミナー ～弁護士が語る。セクハラ・パワハラの顛末と防止策～」 ・講演：原田直子(弁護士法人女性協同法律事務所代表) 参加者数：177人 共同主催：福岡市企業同和問題推進協議会	A	市) 事業推進課
		予 算 額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>		
25年度予算額	24年度予算額			
-	-			
具体的施策 43 農林水産業の分野における女性の参画促進				
女性農業者育成支援事業		食や農に精通した女性農業者が、小学校等でのみそづくり指導を通して、食と農の知識の普及や地域農業文化の継承に取り組んだ。 また女性農業者を対象とした研修会等を行うことで、地域農業を支える担い手としての育成を図れた。 ○事業主体 ・福岡市農業協同組合，福岡市東部農業協同組合 ○実績 ・研修等 2回〈3回〉 ・小学校等でのみそづくり指導 30回〈34回〉	A	農水) 農業振興課
		予 算 額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">330千円</td> <td style="text-align: center;">〈330千円〉</td> </tr> </table>		
25年度予算額	24年度予算額			
330千円	〈330千円〉			
玄海うまかもん食育事業		中学校等に漁協女性部より講師を派遣し、魚介類を使った調理教室を実施。 ・実施回数 22回 〈 45回 〉 ・参加者数 765人 〈 1,546人 〉	A	農水) 水産振興課
		予 算 額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,353千円</td> <td style="text-align: center;">〈1,333千円〉</td> </tr> </table>		
25年度予算額	24年度予算額			
1,353千円	〈1,333千円〉			

基本目標 5 働く場において男女が対等に参画できる社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	14	13	0	0

施策の方向 1 男女の均等な機会と待遇確保

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
具体的施策 44 企業等への広報・啓発					
企業向け講演会 ☆アミカス講座		(具体的施策 42再掲) 働く女性の人権セミナー 「セクハラ・パワハラセミナー ～弁護士が語る。セクハラ・パワハラの顛末と防止策～」 ・講演：原田直子(弁護士法人女性協同法律事務所代表) 参加者数:177人 共同主催：福岡市企業同和問題推進協議会	A	市) 事業推進課	
社会貢献優良企業優遇制度 (次世代育成・男女共同参画支援事業分)		(具体的施策 28再掲) 社会貢献度の高い地場企業に対して優先指名等の優遇措置を行う社会貢献優良企業優遇制度の対象事業に「次世代育成・男女共同参画支援事業」を設けている。 認定企業:73社(57社) 認定期間:H25.8.1～H28.7.31	B	市) 男女共同参画課	
「い～な」ふくおか応援団	関係局との連携を図り、庁内のワーク・ライフ・バランスの推進を図る。	(具体的施策 28再掲) ○「い～な」ふくおか応援団会議の開催 ○社会貢献優良企業優遇制度 (次世代育成・男女共同参画支援事業分) ○他の制度・事業との連携 ・「エコ&い～な」早帰りチャレンジデー	B	こ) 総務企画課	
女性活躍企業応援事業		参加企業の女性社員によるワーキングや成果発表会等を実施した。 ○参加企業 8社 ○事業内容 ・ワーキング 5回 ・キャリアアップ研修 1回 ・成果発表会(公開セミナー) 日時:平成26年3月5日 場所:アクロス福岡 円形ホール 参加者:関係者55名、一般参加者65名	B	市) 男女共同参画課 ※25年度は、 こ) 総務企画課	
		予 算 額			
		25年度予算額 2,500千円	24年度予算額 -		
具体的施策 45 男女共同参画推進に取り組む企業の事例紹介					
「い～な」ふくおか応援団	関係局との連携を図り、庁内のワーク・ライフ・バランスの推進を図る。	(具体的施策 28再掲) ○「い～な」ふくおか応援団会議の開催 ○社会貢献優良企業優遇制度 (次世代育成・男女共同参画支援事業分) ○他の制度・事業との連携 ・「エコ&い～な」早帰りチャレンジデー	B	こ) 総務企画課	

施策の方向 2 働く女性への支援

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 46 働く女性への労働に関する広報と情報提供				
市HPでの情報提供	関連部署とリンクさせるなど利便性を向上させ、市民が見やすく、分かり易いホームページとなるよう工夫する。	(具体的施策 8再掲) 本市の男女共同参画にかかる情報に関しては下記アドレスにて情報を発信している。 福岡市トップページ→生活情報→人権・男女共同参画 25年度の主な掲載内容 ・男女共同参画審議会 ・男女共同参画フォーラムの開催 ・「モデル校区地域リーダー育成塾」報告会の開催 ・男女共同参画推進協議会 ・ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催 ・社会貢献優良企業優遇制度の募集 ・男女共同参画推進員(嘱託員)募集 等	A	市) 男女共同参画課
インターネットによる広報 (アマカスHP)	アクセス件数を250,000件以上にする。 メルマガ登録数を1,500件以上にする。	(具体的施策 8再掲) ○ホームページによる広報 ・男女共同参画推進センターの施設案内、事業概要、イベント、講座等の案内・募集、事業報告、アンケート集計等 ・調査研究報告書、図書情報、出版物の紹介 ・女性関連情報サイトへのリンク アクセス件数 222,851件<222,881件> ○メールマガジンの配信 メールマガジン登録者に男女共同参画推進センターの案内や男女共同参画の情報等を配信した。 登録数1,157件<登録数1,080件>	A	市) 事業推進課
女性のチャレンジ支援のための講座等		○働き女子のハピキャリア道場 働く女性たちが、次世代のリーダーとして活躍するために必要な意識啓発と能力開発を支援する「実践型のセミナー」 参加者数:延べ157人(全6回) ○キャリアアップセミナー 1.「ここがおかしい、職場の問題～傾向と対策、私の選択～」 講師:篠塚祐二(パートナーズ特定社労士事務所所長) 2.「夢をカタチにする仕事術～わたしプロジェクト始動!～」 講師:空直美(中小企業診断士) 参加者数:延べ48人(全2回)<延べ126人(全4回)>	A	市) 事業推進課
		予 算 額 (※働き女子のハピキャリア道場分) 25年度予算額 1,187千円 24年度予算額 -		
☆アマカス講座				
福岡市しごと情報HP		福岡市しごと情報ホームページを通して、求職者に対する相談窓口、講座、セミナー等の情報提供や関連する施策の掲載等を行い、多様な働き方を支援。 アクセス数 平成25年度:23,321件<H24:1,399件> ※ 25年2月1日にリニューアルしたため H24年度の実績は、H25.2.1～3.31の2か月間	B	経) 就労支援課
		予 算 額 25年度予算額 - 24年度予算額 -		
勤労者総合啓発事業	勤労者総合啓発誌「働くあなたのガイドブック」をできるだけ多くの窓口に配布し、労働関係の法令や助成制度、窓口の基礎知識の周知に努める。	(具体的施策 19再掲) 労働関係法令などを掲載した勤労者総合啓発誌を作成し、市民をはじめ労働団体・企業主等に配布することにより勤労者の生活及び福祉の向上を図る。 啓発誌「働くあなたのガイドブック」改訂版の作成及び配布 ページ数:52ページ 配 布 先:国・県等の関係機関、情報プラザ、区役所、市内高校等 ※平成25年度改訂版 10,000部作成	A	経) 就労支援課

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 47 働く女性の能力開発のための研修の実施				
女性のチャレンジ支援のための講座等 ☆アミカス講座		(具体的施策 46再掲) ○働き女子のハピキャリア道場 働く女性たちが、次世代のリーダーとして活躍するために必要な意識啓発と能力開発を支援する「実践型のセミナー」 参加者数:延べ157人(全6回) ○キャリアアップセミナー 1.「ここがおかしい、職場の問題～傾向と対策、私の選択～」 講師:篠塚祐二(パートナーズ特定社労士事務所所長) 2.「夢をカタチにする仕事術～わたしプロジェクト始動!～」 講師:空直美(中小企業診断士) 参加者数:延べ48人(全2回)〈延べ126人(全4回)〉	A	市) 事業推進課
女性活躍企業応援事業		(具体的施策 44再掲) 参加企業の女性女性社員によるワーキングや成果発表会等を実施した。 ○参加企業 8社 ○事業内容 ・ワーキング 5回 ・キャリアアップ研修 1回 ・成果発表会(公開セミナー) 日時:平成26年3月5日 場所:アクロス福岡 円形ホール 参加者:関係者55名、一般参加者65名	B	市) 男女共同参画課 ※25年度は、こ) 総務企画課
具体的施策 48 働く女性の交流の場の提供				
女性のチャレンジ支援のための講座等 ☆アミカス講座		(具体的施策 46再掲) ○働き女子のハピキャリア道場 働く女性たちが、次世代のリーダーとして活躍するために必要な意識啓発と能力開発を支援する「実践型のセミナー」 参加者数:延べ157人(全6回) ○キャリアアップセミナー 1.「ここがおかしい、職場の問題～傾向と対策、私の選択～」 講師:篠塚祐二(パートナーズ特定社労士事務所所長) 2.「夢をカタチにする仕事術～わたしプロジェクト始動!～」 講師:空直美(中小企業診断士) 参加者数:延べ48人(全2回)〈延べ126人(全4回)〉	A	市) 事業推進課
具体的施策 49 相談の充実				
アミカス相談室	日常生活の中で直面する様々な問題について相談員などが相談を受け、問題解決に向けて援助する。	(具体的施策 15再掲) (1)相談業務 ①総合相談(相談・面接) ②アミカスDV相談ダイヤル ③法律相談 ④男性のための相談ホットライン (2)講座などによる啓発活動 ①法律講座 年4回(6回) 参加者 延べ76名(199名) ②グループワーク 年2講座12回 参加者 延べ60人(59人) ③DV講座 2回(2回) 参加者15名(14名) ④自主グループ支援 6回(13回)24人(55人) (3)相談員の会議・研修 ①DV相談窓口の相談員連絡会議 1回(1回) ②事例検討・研修会 年5回(5回) 〈事業実績〉 ○相談件数 4,210件(4,764件) 再掲:DV相談 796件(1,097件)	B	市) 事業推進課

施策の方向 3 女性の就業支援

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
具体的施策 50 就業意識の啓発と職業能力の向上								
女性のチャレンジ支援のための講座等 (資格・技術習得講座) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">☆アミカス講座</div>		○色彩検定(2級・3級)試験対策講座 全20回 参加人数:延べ309人 <色彩検定(2級・3級)試験対策講座 全10回 延べ143人> <色彩検定(2級・3級)試験対策講座土曜集中コース 全6回 延べ73人> 主催:職業訓練法人福岡地区職業訓練協会	B	市) 事業推進課				
		○パソコン講座3講座(4講座) 回数:37回<24回> 参加数:延べ429人<延べ583人> 共同主催:職業訓練法人福岡地区職業訓練協会	B	市) 事業推進課				
		○商業簿記(3級)講座 回数:23回<24回> 参加者数:延べ574人<延べ659人> 共同主催:職業訓練法人福岡地区職業訓練協会	B	市) 事業推進課				
		予 算 額						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 50%;">25年度予算額</th> <th style="width: 50%;">24年度予算額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
就業支援講習会 (母子福祉センター)	現状の各種講習会を継続して実施する。	母子福祉センターにおいてホームヘルパー・医療事務・各種パソコン講座等を実施した。 講座数 44(36) 受講者数 412人<405人> (※「パソコンなんでも相談」を含む)	A	こ) こども家庭課				
		予 算 額						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 50%;">25年度予算額</th> <th style="width: 50%;">24年度予算額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">54,813千円</td> <td style="text-align: center;"><55,154千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	54,813千円	<55,154千円>		
25年度予算額	24年度予算額							
54,813千円	<55,154千円>							
ソーシャルビジネス (SB)振興事業		(具体的施策 33再掲) ○啓発事業 ・SBフォーラム 参加1,162名<116名> ・SB入門セミナー 受講者164名<153名> ○支援事業 ・SB起業セミナー 受講者21名<21名> ・SB相談窓口利用件数65回<56回> ・現在のSB事業者数 125事業者<126事業者>	A	経) 就労支援課				
福岡市しごと情報HP		(具体的施策 46再掲) 福岡市しごと情報ホームページを通して、求職者に対する相談窓口、講座、セミナー等の情報提供や関連する施策の掲載等を行い、多様な働き方を支援。 アクセス数 平成25年度:23,321件<H24:1,399件> ※ 25年2月1日にリニューアルしたため H24年度の実績は、H25.2.1~3.31の2か月間	B	経) 就労支援課				
インターンシップ 事業	継続して参画していく。	「福岡県インターンシップ推進協議会」の構成員として参画し、大学生・短大生のインターンシップ事業を推進した。 ・事業実績 H25:1,025人 <H24:744人※女性のみの数字は不明>	A	経) 就労支援課				
		予 算 額						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 50%;">25年度予算額</th> <th style="width: 50%;">24年度予算額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
具体的施策 51 女性の起業支援						
女性のチャレンジ支援のための講座等 ☆アミカス講座		○女性の起業支援セミナー(全5日間) 講師:中川晋巳重(中小企業診断士)ほか 参加者数:延べ141人(134人) 修了者数 27人(24人) ○HAPPY女子マーケット準備セミナー(全3回) 講師:清水麗子((株)グレイスクリエ代表取締役) 参加者数:延べ82人	A	市) 事業推進課		
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th style="width: 50%;">25年度予算額</th> <th style="width: 50%;">24年度予算額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
-	-					
ソーシャルビジネス(SB)振興事業		(具体的施策 33再掲) ○啓発事業 ・SBフォーラム 参加1,162名<116名> ・SB入門セミナー 受講者164名<153名> ○支援事業 ・SB起業セミナー 受講者21名<21名> ・SB相談窓口利用件数65回<56回> ・現在のSB事業者数 125事業者<126事業者>	A	経) 就労支援課		
具体的施策 52 再就職への支援						
女性のチャレンジ支援のための講座等 ☆アミカス講座		お仕事再開プチ講座 全3回(全4回) 講師:成瀬穂美、齊藤南美(アミカス企画運営員) 参加者数 延べ28人(延べ38人)	B	市) 事業推進課		
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th style="width: 50%;">25年度予算額</th> <th style="width: 50%;">24年度予算額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
-	-					
女性のチャレンジ支援のための講座等 ☆アミカス講座		女性の就職支援セミナー 実施回数10回(9回) セミナー参加者 延べ 115人(83人) 事業所紹介者数 15人(5人) 就業者数 11人(7人) ※調査途中 託児付き相談会参加者 15人(5人) 共同主催:シティハローワークみなみ	A	市) 事業推進課		
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th style="width: 50%;">25年度予算額</th> <th style="width: 50%;">24年度予算額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
-	-					
ソーシャルビジネス(SB)振興事業		(具体的施策 33再掲) ○啓発事業 ・SBフォーラム 参加1,162名<116名> ・SB入門セミナー 受講者164名<153名> ○支援事業 ・SB起業セミナー 受講者21名<21名> ・SB相談窓口利用件数65回<56回> ・現在のSB事業者数 125事業者<126事業者>	A	経) 就労支援課		
福岡市しごと情報HP		(具体的施策 46再掲) 福岡市しごと情報ホームページを通して、求職者に対する相談窓口、講座、セミナー等の情報提供や関連する施策の掲載等を行い、多様な働き方を支援。 アクセス数 平成25年度:23,321件<H24:1,399件> ※ 25年2月1日にリニューアルしたため H24年度の実績は、H25.2.1~3.31の2か月間	B	経) 就労支援課		

基本目標6

地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	5	22	1	0

施策の方向 1 地域における男女共同参画意識の浸透

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 53 地域の主体性を尊重した男女共同参画の推進				
男女共同参画地域づくり事業	「みんなで参画ウィーク」の取組みが全校区で実施される。	○「みんなで参画ウィーク」及び「シンボルマーク」の広報・周知 （市政だより・ホームページへの掲載、ポスター、チラシ、ポケットティッシュの配布等） ○コーディネーター派遣 12校区<7校区> ○モデル校区地域リーダー育成塾(2校区) ・アドバイザー派遣(各校区2名) 東区若宮校区 5回 城南区堤地区 4回 ・報告会「モデル校区活動報告&講演『女性の力は地域の活力』」 報告者：若宮校区男女共同参画推進会 堤地区男女共同参画部 講師：東京大学大学院総合文化研究科 教授 瀬地山 角 参加人数：163名	B	市) 男女共同参画課
		予 算 額(※25年度から地域リーダー育成事業を統合) <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">25年度予算額</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">2,344千円</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">1,861千円</td> </tr> </table>		
25年度予算額	24年度予算額			
2,344千円	1,861千円			
七区男女共同参画協議会による男女共同参画研修実施状況調査	すべての校区における男女共同参画研修の実施。	七区男女共同参画協議会として全校区男女共同参画協議会における研修の実施状況調査を行い、研修実施率の向上に取り組んだ。 男女共同参画研修実施率 93.1%(<90.4%)	A	市) 男女共同参画課

基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	(具体的施策 5再掲) ①総会・定例会・専門部会の開催(委員:27人) 総会1回・定例会12回・専門部会(随時) ②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:310人(24年度:240人) 講演:「自分を育てる時間の使い方」 講師:村上 祥子 氏(料理研究家) ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:370人(24年度:379人) テーマ「超高齢社会の絆を考える」 (3回シリーズ 共催:東市民センター) ④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:77名(24年度:65人) 「男女共同参画ってなあに」(講義) 講師:アミカス副館長 安部 修 氏 ⑤日本女性会議2013あなん(4名参加)(24年度:4人) ⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会、演舞台に参加) ⑦筑紫少女苑 成人式に参列 ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	(具体的施策 5再掲) ①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 ②男女共同参画講演会(参加者63名) テーマ:男女共同参画社会をめざして 講 師:寺坂カタエ氏 対 象:校区男女共同参画委員、自治協議会長、 公民館長・主事、まち館館長 ③日本女性会議への参加(参加者数5名) 分科会・全体会へ参加 ④内閣府男女共同参画フォーラムin福岡市への参加 (各校区複数名) ⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第2ブロック」(参加者41名) 「第5ブロック」(参加者48名) ⑥視察研修(参加者数:37名) 福岡県男女共同参画表彰受賞者講演 視察先:田川郡川崎町 講 師:ラピユタファーム代表 杉本利雄氏 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り、各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(9名)	B	博) 地域振興課

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者会を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・定例会(月1回程度)での情報交換 ・定例会での校区活動報告 ・区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計3人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画委員研修の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:安部事業推進課長 / 参加者:80名)</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p> <p>※25年度は、地域振興・支援課</p>
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成25年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(6月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、9月、1月) 男女共同参画についての講演会を実施 校区が抱える問題や、お互いの考え方などについてグループワークを実施 校区活性化、取り組み方等についても意見を交換</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年6回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座 2回【参加者数:43名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②南区男女共同参画セミナー【参加者数:94名】 校区男女協及び自治協、校区住民等を対象に開催</p> <p>1)男女共同参画啓発ビデオ上映 「女性の人権シリーズ 夫の虐待を許さない！ —夫婦のモラル・ハラスメント— 家庭に潜む、女性への人権侵害を許さない」</p> <p>2)講演 「男と女のいい関係～DVってなあに？～」 講師:原 健一氏 (佐賀県DV総合対策センター所長)</p> <p>③南区男女共同参画事業・活動報告書の作成 (発行は26年度)【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>

基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(10回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>④その他 ・「日本女性会議2013あなん」への参加 ・「男女共同参画フォーラム」「アミカス記念祭」「あすばるフォーラム」への参加 ・各校区での広報紙の発行</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「男女共同参画を地域ですすめるには!？」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:79名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 東日本大震災を今一度、女性の視点で捉え、この福岡で暮らす私たちが今後その教訓をどう生かしていくか学んだ。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:137名】 I部 「日本女性会議2013あなん」参加報告 II部 講演「震災後の女性と子どもたち - 避難所生活・DV・そして今 -」 ・講師:八幡 悦子氏(NPO法人 ハーティ仙台・助産師)</p> <p>③「日本女性会議2013あなん」への派遣 3名</p>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
早良区男女共同参画協議会活動支援	<p>校区活動の活性化へつながる活動の支援。</p> <p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当</p> <p>①早良公民館 91名(68名) 「一人ひとりがいきいきと輝く地域社会に」 福永 宅司氏(子どもの学び館代表取締役)</p> <p>②田隈公民館 62名(55名) 「輝き続けて90年 寺坂カタエの一代記」 寺坂 カタエ氏</p> <p>③原西公民館 65名(66名) 「独身男性育児情報誌編集長からパパになって～社長としてパパとして思うこと」 森 光太郎氏(リトル・ママ代表取締役社長)</p> <p>④室見公民館 71名(76名) 「婚学」で男女共同参画社会を作る 佐藤 剛史氏(九州大学大学院農学研究院助教)</p> <p>2. 日本女性会議2013あなんへの参加(委員5名参加)</p> <p>3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置</p> <p>4. 委員研修会 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当</p> <p>①アミカス記念祭2013参加 4名(2名) 講演会「型にはまらない生き方」講師 養老 孟司氏</p> <p>②あすばる男女共同参画フォーラム2013 1名(7名) 基調講演「誰もが輝く社会へ～女性活躍に向けた課題と期待」等</p> <p>③研修会「男女共同参画ってなあに？」 54名 安部 修氏(アミカス副館長)</p> <p>5. 地域リーダー育成研修会「早良区男女共同参画フォーラム」 第1部:基調講演「男女共同参画5W1H」 講師 中嶋 玲子氏(前あすばる館長) 第2部:パネルディスカッション「地域でやってみよう! 共同参画」</p> <p>6. 「早良区のつどい」開催 368名 第1部:早良区男女共同参画協議会事業報告 協議会委員による人権劇「今やらなきゃ!!!」 第2部:講演会「自分を生きるということ」 講師 吉永 みち子氏(ノンフィクション作家)</p>	B	早) 地域支援課
西区男女共同参画連絡会活動支援	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標:平成27年度までに25%とする。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。会議やフェスティバルの開催、広報紙発行を実施した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画表彰等を実施した。</p> <p>1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2013 「とむにつくろう いきいきとしたまち」 230名(300名)</p> <p>2. 日本女性会議 日本女性会議2013あなん参加 1名(4名)</p> <p>3. 委員交流・意見交換会 ①6月委員交流会・意見交換会 40名(41名) 実行委員・年間テーマ決定 ②9月委員交流会・意見交換会 31名(32名) 「地域課題の解決に向けた実践」 石田 喜久美 委員(壱岐校区) ③1月委員交流会・意見交換会 26名(33名) 「地域の男女共同参画意識を高めるためには」 岩永 真一 氏(福岡テンジン大学学長) ※地域リーダー育成研修会として開催 ④3月委員交流会・意見交換会 29名(30名) 「私たち今“いきいき”してますか」</p> <p>4. 全体会 ①40名(6月委員交流会終了後、同日開催) ②29名(3月委員交流会終了後、同日開催)</p> <p>5. 広報紙「なぎさ」 45号・46号(各号6500部)発行(43・44号は6400部ずつ発行) 年2回、9月・3月に発行している。</p> <p>6. 男女共同参画表彰 受賞者:1団体(受賞者:5名, 3団体)</p>	B	西) 振興課

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 54 自治協議会等を中心とした男女共同参画意識の浸透				
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣回数50回	<p>(具体的施策 4再掲)</p> <p>○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した30人と、前期より継続して登録した17人、合計47人(女性39人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 12回(25回) ・講座の受講者数 延べ404人(671人)</p> <p>○第4期男女共同参画推進サポーターのフォローアップ 「男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座」の実施 平成24年度から3年間、市民講師として派遣する第4期サポーターの研鑽を図るための講座を実施した。 全2回 参加者数 延べ183人(全4回 参加者数 延べ35人)</p>	B	市) 事業推進課
活力あるまちづくり支援事業	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	<p>(具体的施策 9再掲)</p> <p>活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。</p> <p>補助金交付団体数 148団体(148団体) (うち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付)</p>	A	市) コミュニティ推進課
出前講座	受講者の満足度の向上を図る。	<p>(具体的施策 8再掲)</p> <p>出前講座において男女共同参画社会基本法、男女共同参画を推進する条例等について説明を行った。</p> <p>実施回数 10件(13件) 参加者数 328人(344人) 受講者の満足度 91.6%(94.0%)</p>	B	市) 男女共同参画課
公民館館長・公民館主事の研修	新任公民館職員研修及び7区の公民館運営研修等において、男女共同参画に係る研修を実施。	<p>(具体的施策 2再掲)</p> <p>公民館職員に対する男女共同参画に係る研修の実施。 ア 新任公民館職員研修実績 25年度1回32人 (24年度1回45人)</p> <p>イ 公民館運営研修実績 東区、博多区各1回、計99人 (東区、博多区、中央区で各1回、計128人)</p>	B	市) 公民館調整課
公民館における男女共同参画学習講座	公民館主催事業(男女共同参画講座)実施館数の増加。 60館	<p>(具体的施策 6再掲)</p> <p>公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。</p> <p>公民館数 49館(43館) 回数 193回(167回) 参加人数 5,485人(5,003人)</p>	B	市) 公民館調整課

施策の方向 2 地域における男女共同参画推進活動の支援

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 55 男女共同参画協議会等の活動支援				
男女共同参画地域づくり事業	「みんなで参画ウィーク」の取組が全校区で実施される。	(具体的施策 53再掲) ○「みんなで参画ウィーク」及び「シンボルマーク」の広報・周知 (市政だより・ホームページへの掲載、ポスター、チラシ、ポケットティッシュの配布等) ○コーディネーター派遣 12校区<7校区> ○モデル校区地域リーダー育成塾(2校区) ・アドバイザー派遣(各校区2名) 東区若宮校区 5回 城南区堤地区 4回 ・報告会「モデル校区活動報告&講演『女性の力は地域の活力』」 報告者: 若宮校区男女共同参画推進会 堤地区男女共同参画部 講師: 東京大学大学院総合文化研究科 教授 瀬地山 角 参加人数:163名	B	市) 男女共同参画課
出前講座	受講者の満足度の向上を図る。	(具体的施策 8再掲) 出前講座において男女共同参画社会基本法, 男女共同参画を推進する条例等について説明を行った。 実施回数 10件<13件> 参加者数 328人<344人> 受講者の満足度 91.6%<94.0%>	B	市) 男女共同参画課
出前講座		出前講座において寸劇等を体験してもらい、男女共同参画について学びの場を提供した。 実施回数 22件<3件> 参加者数 898人<125人>	A	市) 事業推進課

基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>①総会・定例会・専門部会の開催(委員:27人) 総会1回・定例会12回・専門部会(随時)</p> <p>②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:310人(24年度:240人) 講演:「自分を育てる時間の使い方」 講師:村上 祥子 氏(料理研究家)</p> <p>③男女共同参画社会づくり講座 参加者:370人(24年度:379人) テーマ「超高齢社会の絆を考える」 (3回シリーズ 共催:東市民センター)</p> <p>④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:77名(24年度:65人) 「男女共同参画ってなあに」(講義) 講師:アミカス副館長 安部 修 氏</p> <p>⑤日本女性会議2013あなん(4名参加)(24年度:4人)</p> <p>⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会、演舞台に参加)</p> <p>⑦筑紫少女苑 成人式に参列</p> <p>⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名</p>	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等</p> <p>②男女共同参画講演会(参加者63名) テーマ:男女共同参画社会をめざして 講 師:寺坂カタエ氏 対 象:校区男女共同参画委員、自治協議会長、 公民館長・主事、まち館館長</p> <p>③日本女性会議への参加(参加者数5名) 分科会・全体会へ参加</p> <p>④内閣府男女共同参画フォーラムin福岡市への参加 (各校区複数名)</p> <p>⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第2ブロック」(参加者41名) 「第5ブロック」(参加者48名)</p> <p>⑥視察研修(参加者数:37名) 福岡県男女共同参画表彰受賞者講演 視察先:田川郡川崎町 講 師:ラピユタファーム代表 杉本利雄氏</p> <p>⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り、各校区にて保有する。</p> <p>⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(9名)</p>	B	博) 地域振興課

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・定例会(月1回程度)での情報交換 ・定例会での校区活動報告 ・区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計3人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画委員研修の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:安部事業推進課長 / 参加者:80名)</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p> <p>※25年度は、地域振興・支援課</p>
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成25年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(6月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、9月、1月) 男女共同参画についての講演会を実施 校区が抱える問題や、お互いの考え方などについてグループワークを実施 校区活性化、取り組み方等についても意見を交換</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年6回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座 2回【参加者数:43名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②南区男女共同参画セミナー【参加者数:94名】 校区男女協及び自治協、校区住民等を対象に開催</p> <p>1)男女共同参画啓発ビデオ上映 「女性の人権シリーズ 夫の虐待を許さない！ —夫婦のモラル・ハラスメント— 家庭に潜む、女性への人権侵害を許さない」</p> <p>2)講演 「男と女のいい関係～DVってなあに？～」 講師:原 健一氏 (佐賀県DV総合対策センター所長)</p> <p>③南区男女共同参画事業・活動報告書の作成 (発行は26年度)【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>

基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(10回) 校区活動報告、情報交換、行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>④その他 ・「日本女性会議2013あなん」への参加 ・「男女共同参画フォーラム」「アミカス記念祭」「あすばるフォーラム」への参加 ・各校区での広報紙の発行</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「男女共同参画を地域ですすめるには!？」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:79名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 東日本大震災を今一度、女性の視点で捉え、この福岡で暮らす私たちが今後その教訓をどう生かしていくか学んだ。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:137名】 I部 「日本女性会議2013あなん」参加報告 II部 講演「震災後の女性と子どもたち - 避難所生活・DV・そして今 -」 ・講師:八幡 悦子氏(NPO法人 ハーティ仙台・助産師)</p> <p>③「日本女性会議2013あなん」への派遣 3名</p>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>

基本目標6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>早良区男女共同参画協議会活動支援</p>	<p>校区活動の活性化へつながる活動の支援。 男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①早良公民館 91名(68名) 「一人ひとりがいきいきと輝く地域社会に」 福永 宅司氏(子どもの学び館代表取締役) ②田隈公民館 62名(55名) 「輝き続けて90年 寺坂カタエの一代記」 寺坂 カタエ氏 ③原西公民館 65名(66名) 「独身男性育児情報誌編集長からパパになって～社長としてパパとして思うこと」 森 光太郎氏(リトル・ママ代表取締役社長) ④室見公民館 71名(76名) 「婚学」で男女共同参画社会を作る 佐藤 剛史氏(九州大学大学院農学研究院助教) 2. 日本女性会議2013あなんへの参加(委員5名参加) 3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置 4. 委員研修会 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①アミカス記念祭2013参加 4名(2名) 講演会「型にはまらない生き方」講師 養老 孟司氏 ②あすばる男女共同参画フォーラム2013 1名(7名) 基調講演「誰もが輝く社会へ～女性活躍に向けた課題と期待」等 ③研修会「男女共同参画ってなあに？」 54名 安部 修氏(アミカス副館長) 5. 地域リーダー育成研修会「早良区男女共同参画フォーラム」 第1部:基調講演「男女共同参画5W1H」 講師 中嶋 玲子氏(前あすばる館長) 第2部:パネルディスカッション「地域でやってみよう! 共同参画」 6. 「早良区のつどい」開催 368名 第1部:早良区男女共同参画協議会事業報告 協議会委員による人権劇「今やらなきゃ!!!」 第2部:講演会「自分を生きるということ」 講師 吉永 みち子氏(ノンフィクション作家)</p>	<p>B</p>	<p>早) 地域支援課</p>
<p>西区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標:平成27年度までに25%とする。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。会議やフェスティバルの開催、広報紙発行を実施した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画表彰等を実施した。 1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2013 「ともしつくり いきいきとしたまち」 230名(300名) 2. 日本女性会議 日本女性会議2013あなん参加 1名(4名) 3. 委員交流・意見交換会 ①6月委員交流会・意見交換会 40名(41名) 実行委員・年間テーマ決定 ②9月委員交流会・意見交換会 31名(32名) 「地域課題の解決に向けた実践」 石田 喜久美 委員(壱岐校区) ③1月委員交流会・意見交換会 26名(33名) 「地域の男女共同参画意識を高めるためには」 岩永 真一 氏(福岡テンジン大学学長) ※地域リーダー育成研修会として開催 ④3月委員交流会・意見交換会 29名(30名) 「私たち今“いきいき”してますか」 4. 全体会 ①40名(6月委員交流会終了後、同日開催) ②29名(3月委員交流会終了後、同日開催) 5. 広報紙「なぎさ」 45号・46号(各号6500部)発行(43・44号は6400部ずつ発行) 年2回、9月・3月に発行している。 6. 男女共同参画表彰 受賞者:1団体(受賞者:5名,3団体)</p>	<p>B</p>	<p>西) 振興課</p>

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
七区男女共同参画協議会活動支援	今後も区、校区活動の活性化を図る。	七区の男女共同参画協議会・連絡会の会長からなる代表者会議を年4回開催(4回) ・各区男女共同参画協議会・連絡会の活動等についての情報交換 ・各校区における男女共同参画に関する研修会実施状況調査1回(1回)	A	市) 男女共同参画課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		

施策の方向 3 地域活動の方針決定過程への女性の参画促進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
具体的施策 56 自治協議会等への女性役員の参画促進					
地域における諸団体の長等への就任率調査	地域における諸団体の長等への就任率 25%	合計 16.8% < 17.2% 自治協議会(自治連合会)(※) 2.0% < 2.0% 公民館長 19.2% < 20.5% 青少年育成連合会(※) 25.0% < 23.0% 交通安全推進委員会(※) 2.7% < 2.7% 体育振興会(※) 7.4% < 10.8% ごみ減量・リサイクル推進会議(※) 12.8% < 14.1% 人権尊重推進協議会(※) 10.3% < 10.4% 社会福祉協議会 24.1% < 25.5% 老人クラブ連合会 9.9% < 7.8% 子ども会育成連合会 43.4% < 48.2% 市立小学校PTA 5.5% < 3.4% 市立中学校PTA 5.8% < 2.9% 地区民生委員・児童委員協議会 65.7% < 65.7% ※団体の名称は各校区により異なるため、一般的に使用されている名称を記載している(「自治連合会」は「自治協議会」未設立校区のみカウント)	C	市) 男女共同参画課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		
具体的施策 57 地域の女性リーダー育成と活躍支援					
男女共同参画地域づくり事業	「みんなで参画ウィーク」の取組みが全校区で実施される。	(具体的施策 53再掲) ○「みんなで参画ウィーク」及び「シンボルマーク」の広報・周知(市政だより・ホームページへの掲載、ポスター、チラシ、ポケットティッシュの配布等) ○コーディネーター派遣 12校区<7校区> ○モデル校区地域リーダー育成塾(2校区) ・アドバイザー派遣(各校区2名) 東区若宮校区 5回 城南区堤地区 4回 ・報告会「モデル校区活動報告&講演『女性の力は地域の活力』」 報告者: 若宮校区男女共同参画推進会 堤地区男女共同参画部 講 師: 東京大学大学院総合文化研究科 教授 瀬地山 角 参加人数: 163名	B	市) 男女共同参画課	
「地域における男女共同参画講座・講演会」支援事業	支援件数を50件以上にする。	(具体的施策 4再掲) 市民センターや公民館など地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会について、プログラム作成、講師紹介等のアドバイスをを行い支援を行った。 支援回数: 54件 < 52件> (内訳) プログラム作成 0件 < 1件> 講師紹介 24件 < 40件> アミカス寸劇隊派遣事業 8件 < 8件> 出前講座 22件 < 3件>	A	市) 事業推進課	